

平成 2 6 年度

地方独立行政法人福岡市立病院機構に
係る業務実績に関する評価結果報告

福 岡 市

報告第 52 号

地方独立行政法人福岡市立病院機構に係る業務実績に関する評価結果報告

地方独立行政法人法第28条第5項の規定により、地方独立行政法人福岡市立病院機構に係る平成26年度の業務の実績に関する評価結果について報告する。

平成27年9月10日

福岡市長 高 島 宗 一 郎

地方独立行政法人福岡市立病院機構
平成26年度の業務実績に関する評価結果報告書

平成27年7月

地方独立行政法人福岡市立病院機構評価委員会

目 次

は じ め に	1
第 1 項 全体評価	2
第 2 項 項目別評価	4
(1) 大項目評価	
第 1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成する ためとるべき措置	4
第 2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	6
第 3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	7
第 4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置	8
(2) 小項目評価	
福岡市立病院機構の概要	11
全体的な状況	13
項目別の状況	20
第 1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成する ためとるべき措置	
1 医療サービス	20
2 患者サービス	38
3 医療の質の向上	46
第 2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置	
1 自立性・機動性の高い運営管理体制の充実	56
2 事務部門等の専門性の向上	58
3 意欲を引き出す人事・給与制度等の導入	60
第 3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	
1 経営基盤の強化	62
2 収支改善	66
第 4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置	
1 新病院の整備及び運営に関する取組	80
2 福岡市民病院の経営改善の推進	82
第 5 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画	84
第 6 短期借入金の限度額	87
第 7 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画	87
第 8 剰余金の使途	87
第 9 地方独立行政法人福岡市立病院機構の業務運営等 に関する規則で定める業務運営に関する事項	88

※ 中期計画においては、第 1 から第 4 までの小項目評価の項目は、それぞれ第 2 から第 5 となる。

〈参考資料〉

○地方独立行政法人福岡市立病院機構 業務実績評価の方針	89
○地方独立行政法人福岡市立病院機構 年度業務実績評価実施要領	91

は じ め に

地方独立行政法人福岡市立病院機構評価委員会は、地方独立行政法人法第28条の規定に基づき、地方独立行政法人福岡市立病院機構の平成26年度における業務実績の全体について総合的に評価を実施した。

評価に際しては、本評価委員会において、平成22年11月10日に決定した「地方独立行政法人福岡市立病院機構業務実績評価の方針」(89ページ参照)及び「地方独立行政法人福岡市立病院機構年度業務実績評価実施要領」(91ページ参照)に基づき評価を行った。

地方独立行政法人福岡市立病院機構評価委員会 委員名簿

	氏 名	職 名
委 員 長	長 柄 均	福岡市医師会 副会長
副委員長	松 田 晋 哉	産業医科大学医学部公衆衛生学教室 教授
委 員	佐 田 正 之	医療法人佐田厚生会佐田病院 院長
	花 岡 夏 子	福岡県看護協会 会長
	行 正 晴 實	公認会計士

第1項 全体評価

評価結果及び判断理由

〈評価結果〉

第2期中期目標期間の2年目である平成26年度の業務実績に関する評価については、すべての小項目評価が「評価3」以上であることから、第1から第4の大項目評価はすべて「評価A」となる。

この大項目評価の結果を踏まえ、平成26年度においては、福岡市の医療施策として求められる高度専門医療・高度救急医療を提供するため、両病院において着実に医療機能の充実が図られるとともに、市民病院においては、救急医療体制の充実を図るなどの積極的な増収対策や、徹底した費用削減の取り組みなどにより、結果として、各病院においては、経営に関する3指標（総収支比率、経常収支比率、医業収支比率）の目標値をすべて達成したことから、平成26年度の業務実績は「中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる」と評価する。

〈判断理由〉

こども病院においては、新病院への移転を無事に完了するとともに、小児医療（高度・地域・救急）を担う小児総合医療施設として、高い水準の医療機能の強化に努め、福岡市民病院においては、地域医療計画における4疾病（がん、脳卒中、急性心筋梗塞及び糖尿病）への対応を中心に高度専門医療の更なる充実を図るとともに、救急部門の体制強化に積極的に取り組んでいる。

また、両病院ともに地域医療支援病院としての役割を踏まえて、積極的に地域の医療機関との連携強化に取り組んでいる。

さらに、理事長を中心に、両病院と事務局が一体となった経営体制を構築し、経営管理の徹底を図っている。

こうした取り組みの結果、人員の適正配置などによる増収に加え、診療材料等の選定や価格交渉の徹底などによる費用削減により収支も向上し、経営に関する3指標（総収支比率、経常収支比率、医業収支比率）の目標値のすべてを達成している。

項 目	評価 項目 数	ウェイトを 考慮した 項目数	小項目評価					大項目評価
			評価 5	評価 4	評価 3	評価 2	評価 1	
第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	14	24		15	9			A 計画どおり 進んでいる
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置	3	3		1	2			A 計画どおり 進んでいる
第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	6	11		2	9			A 計画どおり 進んでいる
第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置	2	4	2	2				A 計画どおり 進んでいる
合 計	25	42	2	20	20			

全体評価にあたって考慮した内容

〈主な取り組みや特色ある取り組み〉

こども病院においては、新病院開院後、ヘリポート、集中治療センター及びHCU(25床)を新設するなど重症患者への診療体制の強化を図っている。

また、より密接な連携に基づいて医療が実践できるよう循環器センターや周産期センターを発足させたほか、入念な準備を行った上で19名の患児を無事に搬送し、新病院への移転を円滑に完了するなど、診療機能の更なる充実を図っている。

福岡市民病院においては、医療法で定められた医療計画における4疾病への対応を中心に、特に専門医の配置及び乳腺外科専門外来の開始等により診療体制の強化を図るなど、高度専門医療の充実に努めるとともに、第二種感染症病床の設置及び救急部門の機能拡充等に向け、救急診療等の増築工事を完了し、感染症病床の稼働を開始し、診療機能の強化・充実に取り組んでいる。

両病院ともに地域医療支援病院としての役割を果たすため、開放型病床への登録医の拡大やオープンカンファレンスの開催などを通じて地域の医療機関との連携強化に努めるとともに、より一層の接遇改善も含め、職員が一丸となって患者サービスの向上に取り組むとともに、ボランティアの協力も得ながら患者満足度の向上に努めている。

災害発生に備え、両病院ともに防災訓練を実施し、医療機能を維持するための必要物品の備蓄や医療用設備の整備を適切に行い、また、県外の自治体病院等との広域的な災害派遣協定等に基づき、必要な連携体制を整えたほか、医療班の組織や衛星電話、その他必要な応急物資を整備するなど、災害発生時における相互応援体制の強化を図っている。

〈特筆すべき取り組み〉

増収対策として、こども病院においては、新病院移転後の入院患者の受入を順調に進めるとともに、診療報酬改定に伴う施設基準の見直しや治験業務の積極的な推進等によって増収を図っている。

福岡市民病院においては、救急診療棟の完成後、人員の適正配置や救急患者受入体制の整備など救急診療体制及び高度専門医療の充実を図り、手術件数、救急搬送件数及び新規入院患者数等の増加によって増収を図っている。

費用削減については、両病院ともに外部コンサルタントを活用した診療材料等の調達に係る価格交渉の徹底や、契約手法や委託業務の見直しの実施及びジェネリック医薬品の使用拡大等による費用削減に取り組んでいる。

上記のとおり両病院ともに中期計画に基づく経営の効率化や健全化に取り組み、経営に関する3指標(総収支比率、経常収支比率、医業収支比率)を達成するなど、経営改善が順調に進んでいる。

評価にあたっての意見、指摘等

- ・看護系大学が増加傾向にあるので、今後も看護教育について協力していただきたい。
- ・こども病院の環境整備について、これからの病院は、働く職員のアメニティを善くすることがテーマになってくる。
- ・病院の課題をどう経営に反映していくかという職員間の意識が高まってきている。
- ・市外の方の受診が増加しているので、市立病院ということから財政上の問題が出てくるかもしれないが、公的な病院の役割を鮮明にすることにより、市民の理解は得られると考えられる。
- ・新病院の移転業務は職員が一致協力しなければならないことであり、大変な作業なので、評価5は妥当だと思われる。
- ・今後策定される地域医療構想において、どういうところに位置づけされるのか、どういう専門機能を発揮するのかということを確認させ、役割を果たしてもらいたい。
- ・こども病院は、ヘリポートや集中治療室を整備した事で九州全域からの受け入れ体制が整い、また、先天性心疾患等の高度先進医療に取り組んでおりその能力も十分にあるので、アジアの小児医療の中心病院を目指すという将来展望を打ち出すことで福岡市にメリットがあると思われる。

第2項 項目別評価

(1)大項目評価

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

評価結果 A (計画どおり進んでいる)

評価結果

「良質な医療の実践」「地域医療への貢献と医療連携の推進」「災害時等の対応」「病院スタッフの確保と教育・研修」「信頼される医療の実践」の項目において、年度計画の目標を上回る成果を上げているほか、ほとんどの項目で年度計画どおり順調に実施している。

	S	A	B	C	D
評価結果	特筆すべき進捗状況にある	計画どおり進んでいる	おおむね計画どおり進んでいる	やや遅れている	重大な改善すべき事項がある

※ 評価A=小項目において全ての項目の評価が3～5

小項目評価の集計結果(評価した項目数)

項 目	評価項目数	ウエイトを考慮した項目数	小項目評価				
			評価5	評価4	評価3	評価2	評価1
1 医療サービス	5	9		9			
2 患者サービス	4	6			6		
3 医療の質の向上	5	9		6	3		
合 計	14	24		15	9		

評価判断理由

①特筆すべき小項目評価

「1-(1)良質な医療の実践 イ こども病院」

患児の安全を最優先としながら迅速かつ効率的な移転作業を実践し、無事移転を完了するとともに、移転後は周産期センターの増床や手術・集中治療部門の体制整備など、医療機能を強化したことから、年度計画を上回って実施していると判断し、「評価4」とした。

「1-(1)良質な医療の実践 ウ 福岡市民病院」

1日当たり入院・外来患者数以外はすべて目標値を上回ったほか、心疾患救急受入れの拡充や脳血管内治療の専門医の配置などにより手術件数が大幅に増加しており、年度計画を上回って実施していると判断し、「評価4」とした。

「1-(2)地域医療への貢献と医療連携の推進 ア こども病院」

紹介率、逆紹介率など全ての指標が目標値を上回っていることから、年度計画を上回って実施していると判断し、「評価4」とした。

「1-(2) 地域医療への貢献と医療連携の推進 イ 福岡市民病院」

紹介率、逆紹介率など全ての指標が目標値を上回っていることから、年度計画を上回って実施していると判断し、「評価4」とした。

「1-(3) 災害時等の対応」

災害発生時の対応準備として、施設整備面、訓練面等において万全を期すとともに、緊急時に使用可能な衛星電話の設置や、新型インフルエンザ等感染症の発生に備えた簡易病床設置にかかる酸素・吸引等の医療用設備を整備したことから、年度計画を上回って実施していると判断し、「評価4」とした。

「3-(1) 病院スタッフの確保と教育・研修 ア こども病院」

人材確保が困難な中、新病院の機能強化に向けて必要な医師・看護師等を確保できたことに加え、職員のワーク・ライフ・バランスの推進及び人材確保の観点から、新病院に院内保育園や敷地内職員用駐車場を新設するなど、年度計画を上回って実施していると判断し、「評価4」とした。

「3-(1) 病院スタッフの確保と教育・研修 イ 福岡市民病院」

厚生労働省・中央職業能力開発協会から表彰されるなど、ワーク・ライフ・バランス推進プロジェクトの取組等により職場環境に対する職員満足度が向上したことや医療の質向上のための継続的な改善活動等の取組により、病床機能評価3rdG:Ver1.0 において全ての項目が一定の水準以上に達していると評価されたことから、年度計画を上回って実施していると判断し、「評価4」とした。

「3-(2) 信頼される医療の実践 イ 福岡市民病院」

院内感染対策委員会と感染制御チーム（ICT）の連携により、院内感染防止対策の充実を図ったことに加え、薬剤管理指導件数及び栄養食事指導・相談件数のいずれも目標値を上回っていることから、年度計画を上回って実施していると判断し、「評価4」とした。

②その他考慮すべき事項

特になし。

評価にあたっての意見、指摘等

・看護系大学が増加傾向にあるので、今後も看護教育について協力していただきたい。

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置

評価結果 A（計画どおり進んでいる）

評価結果

理事会の決定方針に沿った運営を行うとともに、院長のリーダーシップの下、現場の実態に即した機動性の高い病院経営を行っており、ほとんどの項目で年度計画を順調に実施している。

評価結果	S 特筆すべき進捗 状況にある	A 計画どおり進ん でいる	B おおむね計画ど おり進んでいる	C やや遅れている	D 重大な改善すべ き事項がある
------	-----------------------	---------------------	-------------------------	--------------	------------------------

※ 評価A＝小項目において全ての項目の評価が3～5

小項目評価の集計結果（評価した項目数）

項 目	評価 項目数	ウェイト を考慮 した 項目数	小項目評価				
			評価 5	評価 4	評価 3	評価 2	評価 1
1 自立性・機動性の高い運営管理体制の充実	1	1		1			
2 事務部門等の専門性の向上	1	1			1		
3 意欲を引き出す人事・給与制度等の導入	1	1			1		
合 計	3	3		1	2		

評価判断理由

①特筆すべき小項目評価

「1 自立性・機動性の高い運営管理体制の充実」

理事会を定期的に開催し、決定方針に沿った運営を行い、また、院長のリーダーシップの下、両病院の現場の実態に即した機動性の高い病院経営を行っており、年度計画を上回って実施していると判断し、「評価4」とした。

②その他考慮すべき事項

特になし。

評価にあたっての意見、指摘等

- ・こども病院の環境整備について、これからの病院は、働く職員のアメニティを善くすることがテーマになってくる。
- ・病院の課題をどう経営に反映していくかという職員間の意識が高まってきている。

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

評価結果 A（計画どおり進んでいる）

評価結果

経営管理の徹底による効率的・効果的な経営を行うことにより、両病院及び法人全体としても運営費負担金繰入後の経常黒字が達成されており、年度計画を順調に実施している。

評価結果	S 特筆すべき進捗 状況にある	A 計画どおり進ん でいる	B おおむね計画ど おり進んでいる	C やや遅れている	D 重大な改善すべ き事項がある
------	-----------------------	---------------------	-------------------------	--------------	------------------------

※ 評価A＝小項目において全ての項目の評価が3～5

小項目評価の集計結果（評価した項目数）

項 目	評価 項目数	ウエイト を考慮 した 項目数	小項目評価				
			評価 5	評価 4	評価 3	評価 2	評価 1
1 経営基盤の強化	2	3			3		
2 収支改善	4	8		2	6		
合 計	6	11		2	9		

評価判断理由

①特筆すべき小項目評価

「2-(1)増収 イ 福岡市民病院」

救急搬送件数、紹介率、手術件数、新規入院患者数の増加等により、医業収益は前年度実績を大きく上回っており、年度計画を上回って実施していると判断し、「評価4」とした。

②その他考慮すべき事項

特になし。

評価にあたっての意見、指摘等

・市外の方の受診が増加しているので、市立病院ということから財政上の問題が出てくるかもしれないが、公的な病院の役割を鮮明にすることにより、市民の理解は得られると考えられる。

第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置

評価結果 A（計画どおり進んでいる）

評価結果

新病院に向けた取組みについては、平成26年11月の開院に向け着実に事業を推進するとともに、福岡市民病院の経営改善については、医業収支の目標を達成するなど、年度計画の目標を大幅に上回る成果を上げている。

評価結果	S 特筆すべき進捗 状況にある	A 計画どおり進ん でいる	B おおむね計画ど おり進んでいる	C やや遅れている	D 重大な改善すべ き事項がある
------	-----------------------	---------------------	-------------------------	--------------	------------------------

※ 評価A＝小項目において全ての項目の評価が3～5

小項目評価の集計結果（評価した項目数）

項 目	評価 項目数	ウェイト を考慮 した 項目数	小項目評価				
			評価 5	評価 4	評価 3	評価 2	評価 1
1 新病院の整備及び運営に関する取組	1	2	2				
2 福岡市民病院の経営改善の取組	1	2		2			
合 計	2	4	2	2			

評価判断理由

①特筆すべき小項目評価

「1 新病院の整備及び運営に関する取組」

入念な準備と万全な体制のもと、数十年に一度の大規模プロジェクトであるこども病院の新築移転を無事に完了するとともに、速やかに新病院における医療提供体制を構築したこと及び患者家族滞在施設の建設募金目標額2億円を達成し無事竣工できたことから、年度計画を大幅に上回って実施していると判断し、「評価5」とした。

「2 福岡市民病院の経営改善の推進」

医業収益は大幅に増加し、医業収支比率は目標値を上回ったことから、年度計画を上回って実施していると判断し、「評価4」とした。

②その他考慮すべき事項

特になし。

評価にあたっての意見、指摘等

・新病院の移転業務は職員が一致協力しなければならないことであり、大変な作業なので、評価5は妥当だと思われる。

(2)小項目評価 別紙のとおり

(別紙)

**地方独立行政法人福岡市立病院機構
平成26年度の業務実績に関する評価結果**

小項目評価

福岡市立病院機構の概要

1 現況

① 法人名

地方独立行政法人福岡市立病院機構

② 本部の所在地

福岡市博多区店屋町 4 番 1 号（平成26年10月31日まで）

福岡市東区香椎照葉五丁目 1 番 1 号（平成26年11月 1 日より）

③ 役員の状況

役員	氏名	備考
理事長	竹中 賢治	福岡市民病院 院長
副理事長	福重 淳一郎	福岡市立こども病院・感染症センター 院長
理事	石原 進	福岡経済同友会 代表幹事
	久保 千春	前 九州大学病院 病院長
	石井 幸充	前 福岡市代表監査委員
	青木 知信	福岡市立こども病院・感染症センター 副院長
	是永 大輔	福岡市民病院 副院長
	塚崎 恵子	福岡市民病院 看護部長
監事	伊達 健太郎	弁護士
	新原 清治	公認会計士 ※ ～平成27年 2 月
	久留 和夫	公認会計士 ※ 平成27年 3 月～

④ 運営する病院

（平成26年 4 月 1 日現在）

病院名	所在地	病床数
福岡市立こども病院・感染症センター	福岡市中央区唐人町 2－5－1	一般病床 190床 感染症病床 20床
福岡市民病院	福岡市博多区吉塚本町13－1	一般病床 200床

（平成26年11月 1 日現在）

病院名	所在地	病床数
福岡市立こども病院	福岡市東区香椎照葉 5－1－1	一般病床 233床
福岡市民病院	福岡市博多区吉塚本町13－1	一般病床 200床 感染症病床 4 床

※福岡市民病院は、平成26年10月20日に第二種感染症指定医療機関として登録

⑤ 職員数

(平成26年5月1日現在)

区 分		職員数
合 計		746人
	こども病院・感染症センター	400人
	福岡市民病院	324人
	本部事務局	22人

2 基本的な目標等

地方独立行政法人福岡市立病院機構は、地方独立行政法人制度の特長である自律性、自主性を最大限に発揮し、医療制度改革や診療報酬改定など医療を取り巻く環境の変化に迅速かつ柔軟に対応しつつ、効率的な病院経営を行いながら、地域の医療機関等との機能分担や連携の下、引き続き高度専門医療、救急医療等を提供し、地域における医療水準の向上、市民の健康の維持及び増進に寄与すべく、以下の基本理念及び基本方針の下、福岡市長から指示された中期目標を達成する。

〈基本理念〉

いのちを喜び、心でふれあい、すべての人を慈しむ病院を目指します。

〈基本方針〉

質の高い医療の提供

地域・社会に貢献する病院

健全な病院経営

1 法人の総括と課題

法人設立5年目となる平成26年度については、福岡市から示された第2期中期目標期間の2年目であり、中期目標の達成に向け、医療水準の更なる向上や経営の効率化に取り組むとともに、福岡市民病院の救急診療棟の増築や、こども病院の新築移転という数十年に一度の大規模プロジェクトを無事完了した。

運営面では、福岡市から独立した法人として、地方独立行政法人制度の特長を最大限に生かした自律的な経営が求められていることを踏まえ、理事長を中心に、両病院と運営本部が一体となった運営を行うとともに、外部理事を含む理事会を定期的に開催し、経営管理の徹底を図った。

これらの経営基盤の下、第2期中期計画及び平成26年度の年度計画に基づき、こども病院においては、11月1日に新病院を開院し、最新の医療機器を駆使した高度専門医療に取り組むとともに、周産期センターの病床数の増床や手術・集中治療センターの新設などの体制強化を図った。

また、福岡市民病院においては、救急部門の機能拡充及び第二種感染症病床（4床）の受入に向け、救急診療棟を整備し、救急部門の体制強化及び高度専門医療の更なる充実に取り組んだ。

また、両病院ともに地域医療支援病院としての役割を踏まえ、積極的に地域の医療機関との連携強化に取り組み、地域医療への貢献に努めた。

経営収支面では、増収対策として、人員の適正配置や救急患者の受入体制の整備などを通じて、病床利用率の向上や手術件数の増加などに努めるとともに、コストパフォーマンスを考慮した診療材料等の選定や価格交渉の徹底などによる費用削減に取り組んだ結果、こども病院においては、新病院への移転に伴う診療調整等があったものの、年度計画で想定していた当期純損失は縮小した。また、福岡市民病院においては、当期純利益は3億5,800万円余を確保した。

これらの結果、両病院においては、経営に関する3指標（総収支比率、経常収支比率、医業収支比率）の目標値をすべて達成した。

今後の課題としては、福岡市立こども病院においては、拡充した周産期センター、手術・集中治療センターを早期にフル稼働させ、安定的な経営基盤を確立するとともに、新病院に求められる小児の高度専門医療を提供する病院としての役割を果たしていく必要がある。

また、福岡市民病院については、救急診療棟の効率的な運用及び高度専門医療の更なる充実を図るとともに、外傷センターの開設に向けた体制の整備を進め、救急医療の更なる充実を図る必要がある。

2 大項目ごとの特記事項及び各病院の取り組み状況

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

(1) 医療サービス

福岡市の医療施策として求められる高度専門医療、高度救急医療等を引き続き提供するために、診療機能の更なる充実を図った。

こども病院においては、より密接な連携に基づいて医療が実践できるよう循環器センターや周産期センターを発足させたほか、新病院への移転については、入念な準備を行った上で19名の患児を無事に搬送するなど円滑に完了した。新病院開院後はヘリポート、手術・集中治療センター及びHCU（25床）を新設するなど重症患者の診療体制を強化した。

福岡市民病院においては、医療法で定められた医療計画における4疾病への対応を中心に、専門医の配置及び乳腺外科専門外来の開始等診療体制の強化など、高度専門医療の充実を図った。また、第二種感染症病床（4床）の受入及び救急部門の機能拡充等に向け進めていた救急診療棟の増築工事を完了し、感染症病床の稼動を開始した。

また、両病院ともに地域医療支援病院としての役割を果たすため、開放型病床への登録医の拡大やオープンカンファレンスの開催などを通じて、地域の医療機関を中心に積極的な病病連携・病診連携に努めた。

さらに、災害発生に備え、両病院ともに防災訓練を実施したほか、医療機能を維持するための必要物品の備蓄や医療用設備の整備を適切に行った。

また、県外の自治体病院等との広域的な災害派遣協定等に基づき、必要な連携体制を整えたほか、医療班の組織や衛星電話、その他必要な応急物資を整備するなど、災害発生時における相互応援体制を強化した。

(2) 患者サービス

両病院共通の取組としては、患者一人ひとりに質の高い医療及び充実した看護を提供することが患者サービスの基本と捉えたうえで、より一層の接遇改善を含め、職員が一丸となって患者サービスの向上に取り組むとともに、ボランティアの協力も得ながら患者満足度の向上に努めた。

こども病院においては、退院時のアンケート調査や外来患者を対象とした待ち時間調査に加え新病院の駐車場スペースや交通アクセス等に関する項目を追加した満足度調査を実施し、これらの結果を踏まえながら、更なる患者サービスの向上に努めた。

福岡市民病院においても、患者満足度調査を継続して実施し、これらの結果を踏まえながら更なる患者サービスの向上に努めるとともに、医事課窓口の配置見直しや総合案内の設置を行い、患者動線の整理や待合スペースの拡充など、患者の利便性の向上を図った。

(3) 医療の質の向上

診療体制の強化・充実及び医療スタッフの確保については、こども病院において、医師及び看護師等の増員を行ったほか、ワーク・ライフ・バランス推進の観点から、新病院内に院内保育園や敷地内職員駐車場を新設するとともに、近隣に職員宿舎を確保するなど福利厚生面の充実を図り、人材確保に向けた環境整備を図った。

福岡市民病院においても、ワーク・ライフ・バランス推進プロジェクトに基づき、業務の効率化や時間外勤務の縮減に取り組むなど職員が働きやすい職場環境づくりに努め、職員の満足度向上や看護職員の離職率の低下につながった。

また、両病院ともに院内の感染防止対策や医療安全対策の強化を図ったほか、薬剤管理指導や栄養食事指導・相談を充実し、安全安心な医療の提供に努めた。

さらに、関係法令や内部規定の遵守などコンプライアンスを推進するとともに、ホームページや広報誌等を通じた積極的な情報発信に努めるなど、法令遵守と情報公開を徹底した。

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

(1) 自律性・機動性の高い運営管理体制の充実

平成26年度は計11回の理事会を開催し、法人の経営方針を決定するとともに、適宜、経営管理諸表による経営状況の把握や年度計画の進捗状況を管理し、業務執行の適確性の検証はもとより、経済性・効率性の追及を徹底した。

また、院長のリーダーシップの下、運営委員会（こども病院）や経営五役会議（福岡市民病院）の開催等により、両病院の現場の実態に即した迅速かつ効果的な経営を行った。

(2) 事務部門等の専門性の向上

診療情報管理士有資格者2名を採用し福岡市民病院の経営企画課及び医事課に配置するとともに、今後の事務職員の人材育成・活性化のための方向性と具体的な取組を示した「事務職員人材育成プラン」を踏まえ、事務局全体の機能強化を図るため、運営本部及び両病院間の人事異動を実施した。

また、マネジメント能力向上を目的に、監督者（係長級職員）研修に加え新たに主任級職員研修を実施したほか、院内研修の定期的開催や、外部研修の受講を積極的に推進するなど、経営感覚に優れた事務職員の育成に努めた。

(3) 意欲を引き出す人事・給与制度等の導入

医師を対象とした人事評価制度については、3年間の試行の効果等を検証し、必要な改善策を講じたうえで平成26年度から本格実施したところであり、医師以外の職種についても、職員の業績や貢献度等を適正に評価し、最終的には処遇面等に活かすことで職員の意欲の維持・向上及び業務運営の改善を図ることを目的に、平成

27年度からの試行に向けて管理職目標管理制度を整備した。

また、事務職員に主任制度を導入し、職員の意欲を引き出す人事制度を整備したほか、こども病院への院内保育園の新設など、職員のニーズに対応した福利厚生の実施に努めた。

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

(1) 経営基盤の強化

法人の経営幹部（理事長、副理事長、本部事務局長、病院事務局長、看護部長）で構成する「経営会議」を毎月開催し、月次の経営管理諸表を作成して、随時、経営状況の検証を行いながら、課題に応じた適切な改善策を講じるとともに、両病院においても、診療科長等情報連絡協議会（こども病院）や所属長会議（福岡市民病院）等を開催して、各部署の課題や取組方針等についての情報を共有化し、また、各診療科への院長ヒアリング等を実施するなどにより、経営に関する目標達成状況の把握・管理を徹底した。

また、自己財源の確保対策として、収支改善による利益の確保とともに、積立金の運用方法を工夫するなどにより積立金の運用利益を確保したほか、新病院の医療機器整備においては、コンサルタントの活用や徹底した価格交渉等により、必要な医療機器を確保しつつ費用の抑制を図るなど、効率的に予算を執行し、自己財源の確保に努めた。

(2) 収支改善

こども病院については、移転に伴い段階的に診療調整等を行ったことで一時的に収入が減少したものの、新病院移転後は順調に入院患者の受入を進めるとともに、診療報酬改定に伴う施設基準の見直しや治験業務の積極的な推進等により増収を図ったことで、最終的に医業収益は年度の目標額を上回った。

福岡市民病院においては、救急診療棟の完成後、人員の適正配置や救急患者受入体制の整備など救急診療体制及び高度専門医療の充実を図り、手術件数、救急搬送件数及び新規入院患者数等の増加により、医業収益は前年度実績を上回った。

一方、費用削減対策については、両病院ともに外部コンサルタントを活用した診療材料等の調達に係る価格交渉の徹底、契約手法や委託業務の見直しの実施及びジェネリック医薬品の使用拡大などに取り組んだ。

この結果、両病院においては、経営に関する3指標（総収支比率、経常収支比率、医業収支比率）の目標値をすべて達成した。

【医業収益】

(単位：千円)

区 分	平成25年度実績	平成26年度実績 ()は予算上の目標値	比較増減 ()は実績－目標値
福岡市立こども病院	6,218,191	5,597,058 (5,512,562)	▲621,133 (84,496)
福岡市民病院	4,885,900	5,310,619 (5,205,489)	424,719 (105,130)
法人全体	11,104,091	10,907,677 (10,718,051)	▲196,414 (189,626)

【営業費用】

(単位：千円)

区 分	平成25年度実績	平成26年度実績 ()は予算上の目標値	比較増減 ()は実績－目標値
福岡市立こども病院	※ 6,514,194	7,168,794 (8,168,776)	654,600 (▲999,982)
福岡市民病院	5,065,841	5,486,237 (5,609,315)	420,396 (▲123,078)
法人全体	11,580,035	12,655,031 (13,778,091)	1,074,996 (▲1,123,060)

※ 福岡市立こども病院については、解体する旧病院の建物に係る残存価格を新病院開院までの4年間に圧縮して償却する必要があるため、平成25年度は、営業費用に圧縮後の減価償却費722,261千円を加えて計上している。

(注) 計数は原則としてそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは一致しないものがある。

【経常収支比率】

(単位：%)

区 分	平成25年度実績	平成26年度実績 ()は26年度目標値	比較増減 ()は実績－目標値
福岡市立こども病院	111.1	98.5 (86.6)	▲12.6 (11.9)
福岡市民病院	107.4	106.7 (105.6)	▲0.7 (1.1)
法人全体	109.5	102.1 (94.3)	▲7.4 (7.8)

第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置

(1) 新病院の整備及び運営に関する取組

新病院は、警察・消防等の協力のもと19名の患児の搬送を無事に終え、計画どおり、平成26年11月1日に東区香椎照葉において開院した。

開院後は新しい療養環境の下で、最新の医療機器を駆使しての高度専門医療に取り組むとともに、市民に親しまれる病院づくりを推進するため、新病院を紹介した書籍や広報誌「みらい」等を発行し、竣工記念式や内覧会などの機会を通じて情報発信したほか、ホームページ、病院案内等により移転等の周知を図った。

診療体制面においては、新病院の医療機能の強化に向け、医師及び看護師等を増員するとともに、その他の医療従事者の確保に向け採用手続きを進めた。

このほか、利用者の利便性向上を図るため16室に拡充して整備を進めた患児家族滞在施設（ふくおかハウス）については、3月27日に竣工し、5月1日からの開所に向け、マクドナルド財団と協力して受入準備を進めた。

「ふくおかハウス」建設募金は、「ふくおかハウス」建設募金委員会を中心に活動を行い、目標額2億円を達成した。

(2) 福岡市民病院における経営改善の推進

経営改善の推進については、院長を中心に徹底した経営管理を行いながら、病院一丸となって経営の効率化に努め、積極的な増収対策による医業収益の大幅な増加や徹底した費用削減に取り組んだ結果、医業収支比率は目標値を上回った。

また、医療面における取組としては、引き続き高度専門医療、高度救急医療の強化・充実を図ったほか、第二種感染症病床（4床）の受入及び救急部門の機能拡充等に向け、別館救急診療棟を新設し、救急部門及び感染症病床を稼動した。

【福岡市民病院 医業収支比較】

(単位：百万円)

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
医業収益 a	3,998	4,526	4,881	5,039	4,886	5,311
営業費用 b	4,439	4,687	4,849	5,034	5,066	5,486
差引 (a-b)	▲441	▲161	32	5	▲180	▲175
医業収支比率 (a/b)	90.1%	96.6%	100.7%	100.1%	96.4%	96.8% (95.6%)

※ ()は目標値

【主な目標値の達成状況】

区 分		福岡市立こども病院			福岡市民病院		
		26年度 目標値	26年度 実績値	達成率	26年度 目標値	26年度 実績値	達成率
患者 動向	1人1日当たり入院単価（円）	102,800	104,104	101.3	62,000	63,763	102.8
	1人1日当たり外来単価（円）	11,860	11,405	96.2	16,000	17,609	110.1
	1日当たり入院患者数（人） （病床利用率（％））	127.0 (61.1)	127.6 (61.4)	100.5 (100.5)	184.0 (92.0)	179.5 (89.7)	97.6 (97.5)
	新規入院患者数（人）	4,368	4,242	97.1	4,600	4,647	101.0
	平均在院日数（日）	10.6	10.0	106.0	12.0	11.9	100.8
	1日当たり外来患者数（人）	247.0	258.1	104.5	248.0	243.8	98.3
医業 活動	手術件数（件）	1,831	1,877	102.5	2,700	2,992	110.8
	救急搬送件数（件）	606	589	97.2	2,500	2,835	113.4
	紹介率（％）	88.8	91.8	103.4	81.0	82.5	101.9
	逆紹介率（％）	27.5	58.1	211.3	88.0	129.4	147.0
	薬剤管理指導件数（件）	3,117	3,058	98.1	8,700	9,378	107.8
	栄養食事指導・相談件数（件）	250	245	98.0	1,070	1,199	112.1
患者 満足	退院時アンケート結果（こども病院）	88.0	87.4	99.3	—	—	—
	患者満足度調査（福岡市民病院）	—	—	—	80.0	91.2	114.0
経営 収支	給与費対医業収益比率（％）	71.9	68.0	105.7	57.1	55.9	102.1
	材料費対医業収益比率（％）	21.9	22.4	97.8	24.1	26.7	90.3
	薬品費対医業収益比率（％）	6.6	6.6	100.0	8.6	8.9	96.6
	診療材料費対医業収益比率（％）	12.3	13.0	94.6	15.3	17.7	86.4
	委託料対医業収益比率（％）	14.9	10.3	144.7	7.2	6.6	109.1
	ジェネリック医薬品導入率（％）	7.0	7.1	101.4	27.5	29.1	105.8
	総収支比率（％）	86.3	95.5	110.7	104.8	106.2	101.3
	経常収支比率（％）	86.6	98.5	113.7	105.6	106.7	101.0
	医業収支比率（％）	69.6	78.1	112.2	95.6	96.8	101.3

※福岡市立こども病院については、目標値、実績値ともに旧病院と新病院の合算値を計上。ただし、紹介率及び逆紹介率については新病院の数値。以下同じ。

項目別の状況

中期目標(項目)	第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項 1 医療サービス (1) 良質な医療の実践
中期計画	年度計画
第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置 1 医療サービス (1) 良質な医療の実践 こども病院・感染症センター及び平成26年度開院予定の新病院並びに福岡市民病院が、それぞれに求められる役割を着実に果たすため、次のとおり診療機能の強化・充実に取り組む。 ア こども病院・感染症センター ① 小児医療（高度・地域・救急）を担う小児総合医療施設として高い水準の医療機能を維持する。 ② 新病院への円滑な移行に向けた準備を進める。 ③ 第一種・第二種感染症指定医療機関として、代替の医療機関が確保されるまでの間は、その役割を果たす。	第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置 1 医療サービス (1) 良質な医療の実践 こども病院・感染症センター及び福岡市民病院が、それぞれに求められる役割を着実に果たすため、次のとおり診療機能の強化・充実に取り組む。 ア こども病院・感染症センター ○ 小児高度専門医療のさらなる充実に向け、各診療科がより密接な連携に基づいて医療が実践できるよう、循環器センター（循環器科、心臓血管外科）、周産期センター（産科、新生児科）を4月より発足させるほか、従来の「整形外科」を「整形・脊椎外科」として再編し、脊柱側彎症手術等の受入れ強化に取り組む。 ○ 11月に予定している新病院への移転に係る準備に際しては、患者の安全を最優先としつつ、診療調整については、こども病院の社会的使命を損なうことのないよう、必要最小限に留めるため、効率的な移転作業に努めるとともに、円滑な移行に向け、新病院準備委員会等での検討を進める。 ○ 新病院での医療機能の強化に向け、計画的な医療従事者の確保に努める。 ○ 第一種・第二種感染症指定医療機関として、代替の医療機関が確保されるまでの間は、その役割を果たす。

中期目標(内容)	市立病院機構は、地域における医療水準の向上を図り、市民の健康の維持及び増進に寄与するため、福岡市における医療政策として求められる高度専門医療、救急医療等を提供すること。 また、その役割を安定的・継続的に果たすため、患者のニーズや医療環境の変化に即して、診療機能の充実や見直しを図ること。 ア こども病院・感染症センター 小児に係る地域医療及び高度専門医療を担う小児総合医療施設として高い水準の医療機能を維持するとともに、第一種・第二種感染症指定医療機関としての役割については、福岡県に対し、新病院開院に先立つ早期の指定辞退を届け出ているが、代替の医療機関が確保されるまでの間は、その役割を果たすこと。
-----------------	--

評価の判断理由(実施状況等)	自己評価		委員会の評価		
	ウエイト	評価	ウエイト	評価	評価の判断理由・評価のコメントなど
ア こども病院・感染症センター ○ 小児高度専門医療のさらなる充実に向けて、各診療科がより密接な連携に基づいて医療が実践できるよう、循環器センター（循環器科、心臓血管外科）、周産期センター（産科、新生児科）を4月より新設するとともに、従来の「整形外科」を「整形・脊椎外科」として再編し、脊柱側彎症手術等の受入強化に取り組んだ。 ○ 新病院への移転にあたり、実際に模擬患児を搬送する患児搬送訓練を2回実施し、移転後の運用についてはリハーサル実行委員会を立ち上げ、計3回の総合運用リハーサルを実施するなど、入念な準備を行った。 ○ 新病院移転に伴う診療調整については、10月30日から11月4日までを休診とし、入院診療も同期間の新規受入のみを停止するなど、必要最小限に留めた。 ○ 11月1日の新病院への移転は、患児の安全を最優先として、迅速かつ効率的な移転作業に努め、19名の患児搬送を12台の搬送車両で実施し、警察・消防・高速道路公社・連携病院等の協力により、およそ4時間で無事に完了した。 ○ 新病院での医療機能の強化に向けた計画的な医療従事者確保については、看護師63名、助産師5名を新規に採用するなど、前年度に比べ、正規職員の医師を4名、看護師・助産師を22名増員した。 ○ 第一種・第二種感染症指定病床については、代替医療機関における病床等の整備にあわせ、7月に12床（第一種指定病床2床、第二種指定病床10床）、9月に2床（第二種指定病床2床）、10月に4床（第二種指定病床4床）を返上し、感染症指定病床医療機関としての役割を終えた。	-	-	-	-	

中期計画	年度計画																											
	【目標値】 <table><tr><th>指標</th><th>平成24年度 実績値</th><th>平成26年度 目標値</th></tr><tr><td>1人1日当たり 入院単価（円）</td><td>100,689</td><td>102,800</td></tr><tr><td>1人1日当たり 外来単価（円）</td><td>13,350</td><td>11,860</td></tr><tr><td>1日当たり 入院患者数（人） （病床利用率（％））</td><td>141.6 (74.5)</td><td>127.0 (61.1)</td></tr><tr><td>新規入院患者数（人）</td><td>4,599</td><td>4,368</td></tr><tr><td>平均在院日数（日）</td><td>10.2</td><td>10.6</td></tr><tr><td>1日当たり 外来患者数（人）</td><td>269.6</td><td>247.0</td></tr><tr><td>手術件数（件）</td><td>2,155</td><td>1,831</td></tr><tr><td>救急搬送件数（件）</td><td>630</td><td>606</td></tr></table> ※ 平成24年度実績値は，こども病院・感染症センタ ーの実績値を計上。以下同じ。	指標	平成24年度 実績値	平成26年度 目標値	1人1日当たり 入院単価（円）	100,689	102,800	1人1日当たり 外来単価（円）	13,350	11,860	1日当たり 入院患者数（人） （病床利用率（％））	141.6 (74.5)	127.0 (61.1)	新規入院患者数（人）	4,599	4,368	平均在院日数（日）	10.2	10.6	1日当たり 外来患者数（人）	269.6	247.0	手術件数（件）	2,155	1,831	救急搬送件数（件）	630	606
指標	平成24年度 実績値	平成26年度 目標値																										
1人1日当たり 入院単価（円）	100,689	102,800																										
1人1日当たり 外来単価（円）	13,350	11,860																										
1日当たり 入院患者数（人） （病床利用率（％））	141.6 (74.5)	127.0 (61.1)																										
新規入院患者数（人）	4,599	4,368																										
平均在院日数（日）	10.2	10.6																										
1日当たり 外来患者数（人）	269.6	247.0																										
手術件数（件）	2,155	1,831																										
救急搬送件数（件）	630	606																										

評価の判断理由（実施状況等）	自己評価		委員会の評価		
	ウエ イト	評 価	ウエ イト	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど

中期目標(項目)	第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項 1 医療サービス (1) 良質な医療の実践
中期計画	年度計画
第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置 1 医療サービス (1) 良質な医療の実践 イ 新病院 ① 総合診療科や脳神経外科等を新設し、医療機能の強化を図る。 ② 産科や新生児集中治療室を拡充し、周産期医療の充実を図る。 ③ 診療体制を強化し、小児救急医療の充実を図る。	イ 新病院 ○ 周産期医療体制を拡充整備し、NICU、GCU、産科の病床数を増床するとともに、周産期センターとして一体的に運営する。 ○ 手術室の増設及びHCUを新設するほか、手術部門・集中治療部門が一体となった術後管理、重症患者の診療体制を整備する。 ○ 新たに脳神経外科、皮膚科、小児歯科を段階的に開設する。

中期目標(内容)	市立病院機構は、地域における医療水準の向上を図り、市民の健康の維持及び増進に寄与するため、福岡市における医療政策として求められる高度専門医療、救急医療等を提供すること。 また、その役割を安定的・継続的に果たすため、患者のニーズや医療環境の変化に即して、診療機能の充実や見直しを図ること。 イ 新病院 新病院においては、平成20年12月策定の新病院基本構想を踏まえ、総合診療科、脳神経外科、歯科口腔外科及び皮膚科を新設するとともに、産科を拡充し、こども病院としてこれまで培ってきた小児医療（高度・地域・救急）及び周産期医療の更なる充実を図ること。
----------	--

評価の判断理由（実施状況等）	自己評価		委員会の評価		
	ウエイト	評価	ウエイト	評価	評価の判断理由・評価のコメントなど
イ 福岡市立こども病院 ○ 周産期医療体制の拡充のため、旧病院の病床数と比較してNICUは9床から12床、GCUは10床から24床、産科病棟は4床から20床（うち2床は母子同室）に増床し、周産期センター全体で56床の運用を開始した。 ○ 周産期センターにおいては、新病院移転により全国で8施設しか行われていない双胎間輸血症候群の治療に取り組み、開院後の5か月間で6例の手術を施行した。また、周産期センターの医療機能強化のため、福岡市における国家戦略特別区域法に基づく病床規制の特例を活用し、増床に向けた申請手続きを行った。 ○ 手術室については、旧病院の3室から7室へ増やし、かつハイブリッド型手術室を導入して、より高度な心臓手術に対応できるよう整備した。 併せて、重症化に伴い長期化する入院患児の受け皿として、PICUの後方病床であるHCU25床を新設した。 また、手術・集中治療センターを新設し、手術部門・集中治療部門が一体となった術後管理、重症患者の診療体制を整備した。 遠方からの重症患者の迅速な受入のために新設したヘリポートについては、4件（長崎2件、宮崎2件）を受け入れた。 ○ 新たな診療科である脳神経外科、皮膚科については、平成27年度からの稼働に向け、医療機器や人員の確保等の準備を進めた。 小児歯科については、平成27年4月の開設に向け、設備機器等の準備を行った。 ○ 主な目標値の達成状況については、外来の診療単価、新規入院患者数、救急搬送件数が目標値を若干下回ったが、1日平均患者数（入院・外来）と手術件数については、移転前後の診療調整の影響により、一時的な減少はあったものの、受入体制を整備することで、それぞれ目標値を上回った。	2	4	2	4	患児の安全を最優先としながら迅速かつ効率的な移転作業を実施し、無事移転を完了するとともに、移転後は周産期センターの増床や手術・集中治療部門の体制整備など、医療機能を強化したことから、年度計画を上回って実施していると判断し、「評価4」とする。

中期計画			年度計画		
【目標値】			【目標値】		
指標	平成23年度 実績値	平成28年度 目標値	指標	平成24年度 実績値	平成26年度 目標値
1人1日当たり 入院単価（円）	100,367	97,700	1人1日当たり 入院単価（円）	100,689	102,800
1人1日当たり 外来単価（円）	11,966	12,900	1人1日当たり 外来単価（円）	13,350	11,860
1日当たり 入院患者数（人） （病床利用率（％））	145.9 (76.8)	208.5 (89.5)	1日当たり 入院患者数（人） （病床利用率（％））	141.6 (74.5)	127.0 (61.1)
新規入院患者数（人）	4,899	6,400	新規入院患者数（人）	4,599	4,368
平均在院日数（日）	9.9	11.9	平均在院日数（日）	10.2	10.6
1日当たり 外来患者数（人）	276.7	387.4	1日当たり 外来患者数（人）	269.6	247.0
手術件数（件）	2,212	2,720	手術件数（件）	2,155	1,831
救急搬送件数（件）	639	1,020	救急搬送件数（件）	630	606
※ 平成23年度実績値は、こども病院・感染症センターの実績値			※ 平成24年度実績値は、こども病院・感染症センターの実績値を計上。以下同じ。		

評価の判断理由（実施状況等）	自己評価		委員会の評価																													
	ウ エ イ ト	評 価	ウ エ イ ト	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど																											
【実績値】 <table><tr><th>指標</th><th>平成25年度 実績値</th><th>平成26年度 実績値</th></tr><tr><td>1人1日当たり 入院単価（円）</td><td>105,974</td><td>104,104</td></tr><tr><td>1人1日当たり 外来単価（円）</td><td>11,468</td><td>11,405</td></tr><tr><td>1日当たり 入院患者数（人） （病床利用率（％））</td><td>140.1 (73.7)</td><td>127.6 (61.4)</td></tr><tr><td>新規入院患者数（人）</td><td>4,554</td><td>4,242</td></tr><tr><td>平均在院日数（日）</td><td>10.2</td><td>10.0</td></tr><tr><td>1日当たり 外来患者数（人）</td><td>274.8</td><td>258.1</td></tr><tr><td>手術件数（件）</td><td>2,123</td><td>1,877</td></tr><tr><td>救急搬送件数（件）</td><td>577</td><td>589</td></tr></table> ※ 平成25年度実績値は、こども病院・感染症センタ ーの実績値を計上。以下同じ。	指標	平成25年度 実績値	平成26年度 実績値	1人1日当たり 入院単価（円）	105,974	104,104	1人1日当たり 外来単価（円）	11,468	11,405	1日当たり 入院患者数（人） （病床利用率（％））	140.1 (73.7)	127.6 (61.4)	新規入院患者数（人）	4,554	4,242	平均在院日数（日）	10.2	10.0	1日当たり 外来患者数（人）	274.8	258.1	手術件数（件）	2,123	1,877	救急搬送件数（件）	577	589					
指標	平成25年度 実績値	平成26年度 実績値																														
1人1日当たり 入院単価（円）	105,974	104,104																														
1人1日当たり 外来単価（円）	11,468	11,405																														
1日当たり 入院患者数（人） （病床利用率（％））	140.1 (73.7)	127.6 (61.4)																														
新規入院患者数（人）	4,554	4,242																														
平均在院日数（日）	10.2	10.0																														
1日当たり 外来患者数（人）	274.8	258.1																														
手術件数（件）	2,123	1,877																														
救急搬送件数（件）	577	589																														

中期目標(項目)	第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項 1 医療サービス (1) 良質な医療の実践
----------	--

中期計画	年度計画
第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置 1 医療サービス (1) 良質な医療の実践 こども病院・感染症センター及び平成26年度開院予定の新病院並びに福岡市民病院が、それぞれに求められる役割を着実に果たすため、次のとおり診療機能の強化・充実に取り組む。 ウ 福岡市民病院 ① 医療法で定められた医療計画における4疾病（がん，脳卒中，急性心筋梗塞及び糖尿病）への対応を中心に高度専門医療の更なる充実を図る。 ② 年々増加傾向にある救急患者を円滑に受け入れるとともに，交通事故等で頭部，脊椎，腹部などの複数部分に重度の損傷を負った多発外傷にも適切に対応できるよう救急診療室を拡張し，高度救急医療の強化充実を図る。 ③ 福岡県からの依頼に基づき，第二種感染症病床（4床）を設置するとともに，新型インフルエンザ等の感染症発生時においては，市立病院として，福岡市の対策における医療面での中核的な役割を担うなど，感染症医療機能の充実を図る。 ④ 上記の医療機能強化に対応するため，施設・設備の拡充を図る。	第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置 1 医療サービス (1) 良質な医療の実践 こども病院・感染症センター及び福岡市民病院が，それぞれに求められる役割を着実に果たすため，次のとおり診療機能の強化・充実に取り組む。 ウ 福岡市民病院 ○ 医療法で定められた医療計画における4疾病（がん，脳卒中，急性心筋梗塞及び糖尿病）への対応を中心に高度専門医療の更なる充実を図るとともに，救急部門の体制強化を図る。 ○ 女性医師による週3回の乳腺外科専門外来を開始し，乳腺疾患患者に対して必要な医療を提供する。 ○ 新たに呼吸器外科専門医による週2回の血痰・肺癌外来を開き，肺癌の早期発見，早期治療に努める。 ○ 福岡県からの依頼に基づく第二種感染症病床（4床）の受入及び救急部門の機能拡充のための別館工事の早期完了に努める。 ○ 別館工事により救急処置室の拡充を行い，救急患者の受入に伴う外傷患者の増加に対応するため，3.0テスラのMRIを導入し，頭部領域，骨軟部領域の検査の充実を図り，併せて外傷センターの開設を検討する。

中期目標(内容)	市立病院機構は、地域における医療水準の向上を図り、市民の健康の維持及び増進に寄与するため、福岡市における医療政策として求められる高度専門医療、救急医療等を提供すること。
	また、その役割を安定的・継続的に果たすため、患者のニーズや医療環境の変化に即して、診療機能の充実や見直しを図ること。

評価の判断理由(実施状況等)	自己評価		委員会の評価		
	ウエイト	評価	ウエイト	評価	評価の判断理由・評価のコメントなど
ウ 福岡市民病院 ○ がんや脳卒中など地域医療計画における4疾病への対応を中心に高度専門医療を提供するとともに、救急部門に関しては、救急診療棟の増築に伴い救急診療室の処置・観察ベッドを4台から6台に増やし、体制の拡充を行った。 また、循環器内科領域では、新たに心臓用X線血管造影室の設置による心疾患救急受入の拡充を行い、PCI(経皮的冠動脈形成術)等を含めた手術件数が増加(25年度実績147件→26年度実績350件)し、さらに脳卒中領域では、脳血管内治療の専門医の配置により、手術件数が増加した。(25年度実績24件→26年度実績63件) ○ 女性医師及び女性検査技師による週3回の乳腺外科専門外来を4月から開始し、乳がん手術件数が増加した。(25年度実績18件→26年度実績39件) ○ 呼吸器外科専門医による週2回の血痰・肺癌外来を4月から開始し、肺悪性腫瘍手術件数が増加した。(25年度実績32件→26年度実績36件) ○ 第二種感染症病床(4床)の受入及び救急部門の機能拡充等に向けた準備を進め、救急診療棟工事を8月に完了し、救急部門は9月、感染症病床は11月から稼働した。 ○ 救急診療棟に整備した救急診療室の拡充に伴う外傷患者の増加に対応するため、3.0テスラの高機能MRIを導入し、頭部領域、骨軟部領域の検査の充実を図った。 なお、外傷センターについては、平成27年度の開設に向け、人員確保等の準備を進めた。 ○ 主な目標値の達成状況については、1日当たり入院・外来患者数は目標値を下回ったが、その他の数値は全て目標値を達成しており、特に入院・外来単価、手術・救急搬送件数は目標値を大きく上回った。	2	4	2	4	1日当たり入院・外来患者数以外はすべて目標値を上回ったほか、心疾患救急受入れの拡充や脳血管内治療の専門医の配置などにより手術件数が大幅に増加しており、年度計画を上回って実施していると判断し、「評価4」とする。

中期計画			年度計画		
【目標値】			【目標値】		
指標	平成23年度 実績値	平成28年度 目標値	指標	平成24年度 実績値	平成26年度 目標値
1人1日当たり 入院単価（円）	57,617	64,500	1人1日当たり 入院単価（円）	59,485	62,000
1人1日当たり 外来単価（円）	15,413	16,000	1人1日当たり 外来単価（円）	15,746	16,000
1日当たり 入院患者数（人） （病床利用率（%））	186.0 (93.0)	184.0 (92.0)	1日当たり 入院患者数（人） （病床利用率（%））	184.5 (92.3)	184.0 (92.0)
新規入院患者数(人)	4,386	4,900	新規入院患者数(人)	4,527	4,600
平均在院日数（日）	12.6	11.6	平均在院日数（日）	12.1	12.0
1日当たり 外来患者数（人）	236.5	250.0	1日当たり 外来患者数（人）	248.9	248.0
手術件数（件）	2,619	2,750	手術件数（件）	2,742	2,700
救急搬送件数（件）	2,323	3,100	救急搬送件数（件）	2,429	2,500

評価の判断理由（実施状況等）	自己評価		委員会の評価																													
	ウ エ イ ト	評 価	ウ エ イ ト	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど																											
【実績値】 <table><tr><th>指標</th><th>平成25年度 実績値</th><th>平成26年度 実績値</th></tr><tr><td>1人1日当たり 入院単価（円）</td><td>59,254</td><td>63,763</td></tr><tr><td>1人1日当たり 外来単価（円）</td><td>16,141</td><td>17,609</td></tr><tr><td>1日当たり 入院患者数（人） （病床利用率（％））</td><td>177.9 (88.9)</td><td>179.5 (89.7)</td></tr><tr><td>新規入院患者数（人）</td><td>4,349</td><td>4,647</td></tr><tr><td>平均在院日数（日）</td><td>11.8</td><td>11.9</td></tr><tr><td>1日当たり 外来患者数（人）</td><td>242.8</td><td>243.8</td></tr><tr><td>手術件数（件）</td><td>2,761</td><td>2,992</td></tr><tr><td>救急搬送件数（件）</td><td>2,472</td><td>2,835</td></tr></table>	指標	平成25年度 実績値	平成26年度 実績値	1人1日当たり 入院単価（円）	59,254	63,763	1人1日当たり 外来単価（円）	16,141	17,609	1日当たり 入院患者数（人） （病床利用率（％））	177.9 (88.9)	179.5 (89.7)	新規入院患者数（人）	4,349	4,647	平均在院日数（日）	11.8	11.9	1日当たり 外来患者数（人）	242.8	243.8	手術件数（件）	2,761	2,992	救急搬送件数（件）	2,472	2,835					
指標	平成25年度 実績値	平成26年度 実績値																														
1人1日当たり 入院単価（円）	59,254	63,763																														
1人1日当たり 外来単価（円）	16,141	17,609																														
1日当たり 入院患者数（人） （病床利用率（％））	177.9 (88.9)	179.5 (89.7)																														
新規入院患者数（人）	4,349	4,647																														
平均在院日数（日）	11.8	11.9																														
1日当たり 外来患者数（人）	242.8	243.8																														
手術件数（件）	2,761	2,992																														
救急搬送件数（件）	2,472	2,835																														

中期目標(項目)	第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
	1 医療サービス (2) 地域医療への貢献と医療連携の推進

中期計画				年度計画			
第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置 1 医療サービス (2) 地域医療への貢献と医療連携の推進 ① 地域医療体制の中核を担う地域医療支援病院としての役割を踏まえ、かかりつけ医等の支援を通じて地域医療への貢献に取り組む。 ② 地域の医療機関との連携・協力体制の充実を図り、病病・病診連携を積極的に推進する。				ア こども病院・感染症センター ○ 小児医療の基幹病院及び地域医療体制の中核を担う地域医療支援病院として病病・病診連携を推進するとともに、症状の安定した患者については、積極的に地域の医療機関に逆紹介する。 ○ 移転後の近隣地域施設との新たな信頼関係を築くため、開放型病床への登録医の増加を図るとともに、地域の医療機関への広報等の充実、オープンカンファレンスの利用促進に取り組むなど、更なる連携強化を図る。 ○ 周産期センターの病床を増床するとともに、産科医師を増員するなど充実を図り、県内における周産期医療のネットワークの一翼を担う。 ○ 4月から地域医療連携室に、医療的ケアに関する家族支援や退院支援などの経験を有する看護職員を増員し、地域における小児在宅医療の推進を支援するための取り組みを進める。			
【目標値】				【目標値】			
指標		こども病院（新病院）		指標		こども病院（新病院）	
		平成23年度実績値	平成28年度目標値			平成24年度実績値	平成26年度目標値
紹介率 (%)		85.3	89.0	紹介率 (%)		86.3	88.8
逆紹介率 (%)		25.7	28.0	逆紹介率 (%)		25.8	27.5
オープンカンファレンス	回数(回)	33	36	オープンカンファレンス	回数(回)	44	32
	参加者数(人)	1,017	1,260		参加者数(人)	1,149	1,063
開放型病床への登録医数(人)		111	160	開放型病床への登録医数(人)		136	150

中期目標（内容）	地域医療に貢献するため、地域の医療機関との連携・協力体制の更なる充実を図り、病病・病診連携を積極的に推進すること。
----------	---

評価の判断理由（実施状況等）	自己評価		委員会の評価																												
	ウエイト	評価	ウエイト	評価	評価の判断理由・評価のコメントなど																										
ア 福岡市立こども病院 ○ 小児医療の基幹病院及び地域医療支援病院として病病・病診連携を推進した結果、紹介率については、目標値、前年度実績を上回り、逆紹介率についても、症状の安定した患者を積極的に地域の医療機関へ逆紹介することで、目標値、前年度実績を大幅に上回った。 ○ 開放型病床への登録医数については、積極的に地域の医療機関への登録案内を行い、こども病院カンファレンスを始め、症例検討会等を定期的に開催し、目標値を上回った。また、新病院移転に伴って東区等の開業医等への訪問（副院長，医療ソーシャルワーカー等が計38回実施）に努めるなど、病診連携の強化を図った。 ○ 病院移転後，搭載医療機器等を充実させた新しいドクターカーを導入することにより，新生児搬送や母体搬送に迅速に対応し，円滑な医療連携ができるよう体制を整えた。 ○ 旧病院の病床数と比較してNICUは9床から12床，GCUは10床から24床，産科病棟は4床から20床（うち2床は母子同室）に増床し，また産科医師を2名増員するなど，県内における周産期医療のネットワークの一翼を担うため，周産期医療体制を拡充した。 ○ 4月から地域医療連携室に，医療的ケアに関する家族支援や退院支援などの経験を有する看護職員を増員し，相談支援体制を拡充した。 また，地域における小児在宅医療の推進を支援する取組として，福岡県が実施する「小児等在宅医療推進事業業務委託」を新たに受託し，その強化を図った。 【実績値】 <table><tr><th colspan="2" rowspan="2">指標</th><th colspan="2">福岡市立こども病院</th></tr><tr><th>平成25年度 実績値</th><th>平成26年度 実績値</th></tr><tr><td colspan="2">紹介率（%）</td><td>87.2</td><td>91.8</td></tr><tr><td colspan="2">逆紹介率（%）</td><td>41.3</td><td>58.1</td></tr><tr><td rowspan="2">オープンカンファレンス</td><td>回数（回）</td><td>44</td><td>40</td></tr><tr><td>参加者数（人）</td><td>1,160</td><td>1,092</td></tr><tr><td colspan="2">開放型病床への登録医数（人）</td><td>154</td><td>157</td></tr></table>	指標		福岡市立こども病院		平成25年度 実績値	平成26年度 実績値	紹介率（%）		87.2	91.8	逆紹介率（%）		41.3	58.1	オープンカンファレンス	回数（回）	44	40	参加者数（人）	1,160	1,092	開放型病床への登録医数（人）		154	157	2	4	2	4	紹介率，逆紹介率など全ての指標が目標値を上回っていることから，年度計画を上回って実施していると判断し，「評価4」とする。	
指標			福岡市立こども病院																												
		平成25年度 実績値	平成26年度 実績値																												
紹介率（%）		87.2	91.8																												
逆紹介率（%）		41.3	58.1																												
オープンカンファレンス	回数（回）	44	40																												
	参加者数（人）	1,160	1,092																												
開放型病床への登録医数（人）		154	157																												

中期目標(項目)	第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
	1 医療サービス (2) 地域医療への貢献と医療連携の推進

中期計画		年度計画																																																			
第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置 1 医療サービス (2) 地域医療への貢献と医療連携の推進 ① 地域医療体制の中核を担う地域医療支援病院としての役割を踏まえ、かかりつけ医等の支援を通じて地域医療への貢献に取り組む。 ② 地域の医療機関との連携・協力体制の充実を図り、病病・病診連携を積極的に推進する。		イ 福岡市民病院 ○ 地域医療連携の強化を図るとともに、診療情報誌・季刊誌・各科診療案内・ホームページ等の媒体を使い、地域医療機関へ自院の診療機能の明確な発信を行うことや、積極的に近隣の医療機関への訪問等を実施し、病病・病診連携に努め、紹介率、逆紹介率の向上を図る。 ○ 地域医療支援病院が果たす役割として、「かかりつけ医」等を支援し、地域医療を確保するため、紹介患者に対する最適な医療の提供や医療機器等の共同利用を促進するとともに、地域の医療従事者に対する研修を継続して行う。 ○ 多職種協働によるチーム医療をより一層推進し、医療の質の向上を図ることにより、他院からの紹介患者の増加を図る。																																																			
【目標値】		【目標値】																																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">指標</th><th colspan="2">福岡市民病院</th></tr> <tr> <th>平成23年度 実績値</th><th>平成28年度 目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">紹介率 (%)</td><td>79.9</td><td>83.0</td></tr> <tr> <td colspan="2">逆紹介率 (%)</td><td>74.2</td><td>88.0</td></tr> <tr> <td rowspan="2">オープンカンファレンス</td><td>回数(回)</td><td>30</td><td>36</td></tr> <tr> <td>参加者数(人)</td><td>1,104</td><td>1,150</td></tr> <tr> <td colspan="2">開放型病床への登録医数(人)</td><td>127</td><td>140</td></tr> </tbody> </table>		指標		福岡市民病院		平成23年度 実績値	平成28年度 目標値	紹介率 (%)		79.9	83.0	逆紹介率 (%)		74.2	88.0	オープンカンファレンス	回数(回)	30	36	参加者数(人)	1,104	1,150	開放型病床への登録医数(人)		127	140	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">指標</th><th colspan="2">福岡市民病院</th></tr> <tr> <th>平成24年度 実績値</th><th>平成26年度 目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">紹介率 (%)</td><td>82.9</td><td>81.0</td></tr> <tr> <td colspan="2">逆紹介率 (%)</td><td>81.2</td><td>88.0</td></tr> <tr> <td rowspan="2">オープンカンファレンス</td><td>回数(回)</td><td>33</td><td>30</td></tr> <tr> <td>参加者数(人)</td><td>1,057</td><td>1,000</td></tr> <tr> <td colspan="2">開放型病床への登録医数(人)</td><td>138</td><td>149</td></tr> </tbody> </table>		指標		福岡市民病院		平成24年度 実績値	平成26年度 目標値	紹介率 (%)		82.9	81.0	逆紹介率 (%)		81.2	88.0	オープンカンファレンス	回数(回)	33	30	参加者数(人)	1,057	1,000	開放型病床への登録医数(人)		138	149
指標				福岡市民病院																																																	
		平成23年度 実績値	平成28年度 目標値																																																		
紹介率 (%)		79.9	83.0																																																		
逆紹介率 (%)		74.2	88.0																																																		
オープンカンファレンス	回数(回)	30	36																																																		
	参加者数(人)	1,104	1,150																																																		
開放型病床への登録医数(人)		127	140																																																		
指標		福岡市民病院																																																			
		平成24年度 実績値	平成26年度 目標値																																																		
紹介率 (%)		82.9	81.0																																																		
逆紹介率 (%)		81.2	88.0																																																		
オープンカンファレンス	回数(回)	33	30																																																		
	参加者数(人)	1,057	1,000																																																		
開放型病床への登録医数(人)		138	149																																																		

中期目標（内容）	地域医療に貢献するため、地域の医療機関との連携・協力体制の更なる充実を図り、病病・病診連携を積極的に推進すること。
----------	---

評価の判断理由（実施状況等）	自己評価		委員会の評価																												
	ウエイト	評価	ウエイト	評価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど																										
イ 福岡市民病院 ○ 地域医療支援病院としての役割を果たすため、地域医療連携室に医療ソーシャルワーカーを1名増員し、地域医療連携の強化を図るとともに、診療情報誌・季刊誌・各科診療案内・ホームページ等の媒体を使い、地域医療機関への診療機能の発信や、近隣の医療機関への積極的な訪問等を実施し、紹介率、逆紹介率が向上した。 ○ 開放型病床への登録医数については、積極的に案内を行い、目標値を上回った。それに伴い、開放型病床・高額医療機器等の共同利用についても、利用延べ件数が増加した。（25年度実績 864 件→26 年度実績 1,038 件） また、地域の医療従事者に対する研修については、主となる福岡東部オープンカンファレンスを4回開催したほか、福岡脳卒中救急カンファレンス等、様々なテーマで開催し、回数・参加者数ともに目標値を大幅に上回った。 また、地域住民に対しての健康教室出張セミナー（医療講演）に積極的に取り組んだ。 ○ 多職種協働によるチーム医療（脳卒中等への病病連携-相互訪問診療や感染対策としての施設間相互訪問チェック体制）をより一層推進し、病院相互の医療の質の向上を図った。 【実績値】 <table><tr><th colspan="2" rowspan="2">指標</th><th colspan="2">福岡市民病院</th></tr><tr><th>平成25年度 実績値</th><th>平成26年度 実績値</th></tr><tr><td colspan="2">紹介率（%）</td><td>72.5</td><td>82.5</td></tr><tr><td colspan="2">逆紹介率（%）</td><td>111.3</td><td>129.4</td></tr><tr><td rowspan="2">オープンカンファレンス</td><td>回数（回）</td><td>54</td><td>68</td></tr><tr><td>参加者数（人）</td><td>1,363</td><td>1,466</td></tr><tr><td colspan="2">開放型病床への登録医数（人）</td><td>149</td><td>163</td></tr></table>	指標		福岡市民病院		平成25年度 実績値	平成26年度 実績値	紹介率（%）		72.5	82.5	逆紹介率（%）		111.3	129.4	オープンカンファレンス	回数（回）	54	68	参加者数（人）	1,363	1,466	開放型病床への登録医数（人）		149	163	2	4	2	4	紹介率、逆紹介率など全ての指標が目標値を上回っていることから、年度計画を上回って実施していると判断し、「評価4」とする。	
指標			福岡市民病院																												
		平成25年度 実績値	平成26年度 実績値																												
紹介率（%）		72.5	82.5																												
逆紹介率（%）		111.3	129.4																												
オープンカンファレンス	回数（回）	54	68																												
	参加者数（人）	1,363	1,466																												
開放型病床への登録医数（人）		149	163																												

中期目標(項目)	第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項 1 医療サービス (3) 災害時等の対応
中期計画	年度計画
第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置 1 医療サービス (3) 災害時等の対応 ① 災害発生時やその他の緊急時においては、福岡市及び関係機関との連携の下、患者の受入や医療従事者の派遣など迅速かつ的確に対応し、市立病院としての役割を果たす。 ② 防災対策の点検や必要物品等の備蓄確認等を徹底し、災害対応に備えた万全な体制を維持する。 ③ 他の自治体等において大規模災害が発生した場合は、医療救護活動の支援に努める。	○ 市立病院としての役割を果たすため、福岡市地域防災計画等に基づく適切な対応が行えるよう体制を整えるとともに、院内防災マニュアルの周知や防災訓練の実施を通じ、職員の防災意識を高めるほか、非常用発電設備及び備蓄物品等の点検を徹底し、災害発生時の万全な対応に備える。 ○ 新病院においては、様々な災害に対し、免震構造の完備、電力・通信インフラの2ルート化、津波・高潮対策として非常用発電機の上層階への設置等、事前予防策、事後対策に万全の対応を図る。 また、新病院に対応した院内防災マニュアルの整備や防災訓練の準備等を実施し、新病院での体制を整える。 ○ 他の自治体において大規模災害が発生した場合は、医療スタッフの派遣など医療救護活動の支援に努めるとともに、新病院においては、移転後も引き続き医療救護活動の支援ができるよう、速やかに体制を整える。 また、福岡市民病院においては、九州各県の主要な医療機関との間で九州自治体病院災害相互応援協定を平成25年4月に締結していることから、災害発生時における医療班の派遣や薬剤の提供等による相互支援体制を構築し、これらに迅速に対応できるよう院内に災害時派遣医療班を組織する。

中期目標(内容)	災害発生時やその他の緊急時において、福岡市地域防災計画、各種感染症の対策行動計画等に基づき、市立病院として迅速かつ的確に対応すること。 また、他の自治体等において大規模災害が発生した場合は、医療救護活動の支援に努めること。
----------	---

評価の判断理由(実施状況等)	自己評価		委員会の評価		
	ウエ イト	評 価	ウエ イト	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど
○ 市立病院としての役割を果たすため、福岡市地域防災計画等に基づく予備電源用自家発電設備の定期点検の実施をはじめ、医療機能を維持するための必要物品の備蓄（非常食、ヘルメット、拡声器等）や院内の防災マニュアル等の随時見直しなど、災害発生時の対応準備に万全を期した。 ○ 新病院においては、防災管理者の配置等新体制を整備し、消防計画を変更するとともに、免震構造の完備、電力・通信インフラの2ルート化、津波・高潮対策として非常用発電機の上層階への設置等、様々な災害に対応できるよう必要な対策を講じた。 また、全職員を対象（委託業者を含む）に、新病院の消防設備を熟知し、火災発生時に迅速に対応できるよう、移転前の10月に消防設備説明会（参加者292名）を実施するとともに、2月に東消防署と合同で消防演習（参加者100名）を実施した。 さらに、全国の小児総合医療施設で組織する日本小児総合医療施設協議会における災害時の広域災害支援システムに加入し、緊急時に使用可能な衛星電話を新たに設置した。 ○ 福岡市民病院においては、新型インフルエンザ等感染症の発生に備え、救急診療棟の2階講堂に50床の簡易病床を設置できるよう、酸素・吸引等の医療用設備を整備したほか、突然の重大事故や災害を想定した訓練の成果を競う「第8回福岡メディカルラリー」に出場し、救急医療のスキル向上に取り組んだ。 また、避難誘導訓練と消火器操作訓練を年2回実施（避難誘導訓練については、夜間帯にも実施）した。 さらに、「災害時における医療機関相互応援に関する協定」に基づき、院内に災害時派遣医療班を組織するとともに、協定被災病院に提供する非常食や医療者用ユニフォーム等の応急物資の整備を行った。	1	4	1	4	災害発生時の対応準備として、施設整備面、訓練面等において万全を期すとともに、緊急時に使用可能な衛星電話の設置や、新型インフルエンザ等感染症の発生に備えた簡易病床設置にかかる酸素・吸引等の医療用設備を整備したことから、年度計画を上回って実施していると判断し、「評価4」とする。

中期目標(項目)	第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項 2 患者サービス (1) 患者サービスの向上
----------	---

中期計画	年度計画																
第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置 2 患者サービス (1) 患者サービスの向上 ① 患者満足度調査等を実施し, 患者のニーズを的確に捉えた上で, より一層の患者サービスの向上を図る。 ② 院内環境の整備を進め, より快適な療養環境を提供する。 ③ 新病院については, より過ごしやすい療養空間を確保し, 個室環境の整備とともに, 患児家族滞在施設や駐車場の拡充を行うなど, 利用者の利便性の向上を図る。	ア こども病院・感染症センター ○ 患者のニーズを的確に把握するため, 今後も患者満足度調査や患者待ち時間調査を実施するとともに, 院内の専門委員会において, その調査結果に基づく対応策の検討を行い, より一層の患者サービスの向上を図る。 また, 新病院においても, 療養環境の変化や設備・アクセス等の意見をより反映できる患者満足度調査を行い, いち早く患者ニーズの把握に努め, 患者サービス向上を図る。 ○ 地域医療連携室における医療・福祉相談を充実させ, 保健福祉行政機関とも連携しながら, 各事案に適切に対応する。 ○ 現病院における院内環境の整備については, 新病院への移転も踏まえつつ, きめ細やかな対応に努める。 また, 新病院においては, 駐車場拡充・売店等の充実・院内学級や学習室等の整備及び自動精算機・再来受付機の設置等によって利便性の向上を図るとともに, 個室環境の整備や患児家族滞在施設の拡充など, 療養環境の充実を図る。																
【目標値】 <table><tr><th rowspan="2">指標</th><th colspan="2">こども病院 (新病院)</th></tr><tr><th>平成23年度 実績値</th><th>平成28年度 目標値</th></tr><tr><td>退院時アンケートの平均評価点数 (100点満点)</td><td>88.0</td><td>90.0</td></tr></table> ※対象者・・・入院患者 ※評価項目・・・接遇, 療養環境, 食事内容等	指標	こども病院 (新病院)		平成23年度 実績値	平成28年度 目標値	退院時アンケートの平均評価点数 (100点満点)	88.0	90.0	【目標値】 <table><tr><th rowspan="2">指標</th><th colspan="2">こども病院 (新病院)</th></tr><tr><th>平成24年度 実績値</th><th>平成26年度 目標値</th></tr><tr><td>退院時アンケートの平均評価点数 (100点満点)</td><td>88.0</td><td>88.0</td></tr></table> ※対象者・・・入院患者 ※評価項目・・・接遇, 療養環境, 食事内容等	指標	こども病院 (新病院)		平成24年度 実績値	平成26年度 目標値	退院時アンケートの平均評価点数 (100点満点)	88.0	88.0
指標		こども病院 (新病院)															
	平成23年度 実績値	平成28年度 目標値															
退院時アンケートの平均評価点数 (100点満点)	88.0	90.0															
指標	こども病院 (新病院)																
	平成24年度 実績値	平成26年度 目標値															
退院時アンケートの平均評価点数 (100点満点)	88.0	88.0															

中期目標(内容)	患者のニーズを的確に捉えるとともに、選ばれる病院であり続けるため、患者サービスの向上に努めること。 また、より快適な療養環境を提供するため、院内環境の整備を進めるなど、患者の利便性の向上を図ること。
----------	---

評価の判断理由（実施状況等）	自己評価		委員会の評価										
	ウエイト	評価	ウエイト	評価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど								
ア 福岡市立こども病院 ○ 患者満足度の向上については、入院に関して接遇・療養環境委員会を毎月開催し、患者満足度調査の結果や患者のニーズを分析しながら、評価内容や改善点、職種毎の評価結果等の全職員への周知や改善を行ったものの、退院時アンケートの平均評価点数が目標値を若干下回った。 また、駐車場や交通アクセス等の懸案事項を検証するために、新病院に合わせ改訂した満足度調査のほか、外来待ち時間調査を実施した。 ○ 地域医療連携室に、医療的ケアに関する家族支援や退院支援などの経験を有する看護職員を4月から増員し、相談支援体制を拡充した。 ○ 新病院においては、11月1日からの西鉄バス増便、駐車場の拡充、売店等の充実、院内学級や学習室等の整備及び自動精算機・再来受付機の新設やブロック受付への外来クラーク（事務担当者）の配置等によって、患者の利便性の向上を図るとともに、個室（146室）の整備や患児家族滞在施設（16室）の整備など、療養環境の充実を図った。 また、病院敷地内における禁煙パトロール及び周辺道路まで含めた清掃活動を、管理職以下の職員有志で引き続き行い、敷地内禁煙の徹底と周辺道路の環境保全に努めた。 【実績値】 <table><tr><th rowspan="2">指標</th><th colspan="2">福岡市立こども病院</th></tr><tr><th>平成25年度 実績値</th><th>平成26年度 実績値</th></tr><tr><td>退院時アンケートの平均評価点数 （100点満点）</td><td>88.0</td><td>87.4</td></tr></table> ※対象者・・・入院患者 ※評価項目・・・接遇，療養環境，食事内容等	指標	福岡市立こども病院		平成25年度 実績値	平成26年度 実績値	退院時アンケートの平均評価点数 （100点満点）	88.0	87.4	2	3	2	3	退院時アンケートの平均評価点数が目標値を若干下回ったが、外来待ち時間調査の実施、地域医療連携室への看護職員の増員、新病院における個室や患児家族滞在施設の整備等により療養環境の充実を図り、また、毎月開催している接遇・療養環境委員会において、患者ニーズの分析等による改善に努めるなど、年度計画が順調に実施されていることから、「評価3」とする。
指標		福岡市立こども病院											
	平成25年度 実績値	平成26年度 実績値											
退院時アンケートの平均評価点数 （100点満点）	88.0	87.4											

中期目標(項目)	第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項 2 患者サービス (1) 患者サービスの向上
----------	--

中期計画	年度計画																
第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置 2 患者サービス (1) 患者サービスの向上 ① 患者満足度調査等を実施し,患者のニーズを的確に捉えた上で,より一層の患者サービスの向上を図る。 ② 院内環境の整備を進め,より快適な療養環境を提供する。 ③ 新病院については,より過ごしやすい療養空間を確保し,個室環境の整備とともに,患児家族滞在施設や駐車場の拡充を行うなど,利用者の利便性の向上を図る。	イ 福岡市民病院 ○ 入院患者へのサービス向上として,診療結果や職員の接遇及び療養環境等に関する患者満足度調査を実施し,その結果を踏まえながら,より一層のサービス向上を図る。 また,入院ベッドの老朽化に対処するため,計画的に更新するなど療養環境の整備に努める。 ○ 外来患者へのサービス向上を目的とした「外来機能改善プロジェクト」の検証結果を踏まえ,総合受付の再編や総合案内,自動再来受付機を導入することにより,スムーズな患者導線を実現し,患者の利便性の向上や,待ち時間の短縮を図ることで,患者サービスの向上を図る。 ○ 別館工事により,救急処置室の拡充を図り,広く救急患者の受け入れに対応することで,患者サービスの向上を図る。																
【目標値】 <table><tr><th rowspan="2">指標</th><th colspan="2">福岡市民病院</th></tr><tr><th>平成23年度 実績値</th><th>平成28年度 目標値</th></tr><tr><td>患者満足度調査における平均評価点数 (100点満点)</td><td>76.0</td><td>80.0</td></tr></table> ※対象者・・・入院患者 ※評価項目・・・接遇,療養環境,食事内容,診療内容等	指標	福岡市民病院		平成23年度 実績値	平成28年度 目標値	患者満足度調査における平均評価点数 (100点満点)	76.0	80.0	【目標値】 <table><tr><th rowspan="2">指標</th><th colspan="2">福岡市民病院</th></tr><tr><th>平成24年度 実績値</th><th>平成26年度 目標値</th></tr><tr><td>患者満足度調査における平均評価点数 (100点満点)</td><td>70.2</td><td>80.0</td></tr></table> ※対象者・・・入院患者 ※評価項目・・・接遇,療養環境,食事内容,診療内容等	指標	福岡市民病院		平成24年度 実績値	平成26年度 目標値	患者満足度調査における平均評価点数 (100点満点)	70.2	80.0
指標		福岡市民病院															
	平成23年度 実績値	平成28年度 目標値															
患者満足度調査における平均評価点数 (100点満点)	76.0	80.0															
指標	福岡市民病院																
	平成24年度 実績値	平成26年度 目標値															
患者満足度調査における平均評価点数 (100点満点)	70.2	80.0															

中期目標(内容)	患者のニーズを的確に捉えるとともに、選ばれる病院であり続けるため、患者サービスの向上に努めること。 また、より快適な療養環境を提供するため、院内環境の整備を進めるなど、患者の利便性の向上を図ること。
----------	---

評価の判断理由（実施状況等）	自己評価		委員会の評価										
	ウエイト	評価	ウエイト	評価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど								
イ 福岡市民病院 ○ 入院患者へのサービス向上を目的に、診療内容や職員の接遇、療養環境等に関する患者満足度調査を2回実施し、平均評価点数は、目標値を上回る評価を得た。 また、入院ベッドの老朽化に対処するため、5か年での更新計画を策定し、初年度である26年度は40台の更新を行ったほか、脳血管疾患等のADLの低下した患者がストレッチャーのまま入浴できるよう、5階病棟の浴室改修工事を行った。 ○ 外来機能改善を目的に、自動再来受付機2台を導入した結果、診察までの平均待ち時間は前年度と比べ5分短縮した（25年度平均22分→26年度平均17分）。 また、医事課窓口の配置の見直しや総合案内の設置により患者導線を整理するとともに、待合スペースを拡充し患者の利便性向上を図った。 ○ 救急診療棟の増築に伴い、救急診療室の処置・観察ベッドを4台から6台に増やし、救急患者の受入体制の強化を図った。 また、救急患者専用の説明室及び待合スペースを整備し、患者のプライバシーを確保するなど、患者サービスの向上を図った。 【実績値】 <table><tr><th rowspan="2">指標</th><th colspan="2">福岡市民病院</th></tr><tr><th>平成25年度 実績値</th><th>平成26年度 実績値</th></tr><tr><td>患者満足度調査における平均評価点数（100点満点）</td><td>91.3</td><td>91.2</td></tr></table> ※対象者・・・入院患者 ※評価項目・・・接遇、療養環境、食事内容、診療内容等 〔※平成24年度までは、主として外来患者を対象に接遇面のみでの満足度調査を行っていたが、平成25年度からは、入院患者を対象に上記評価項目での満足度調査を行っている。〕	指標	福岡市民病院		平成25年度 実績値	平成26年度 実績値	患者満足度調査における平均評価点数（100点満点）	91.3	91.2	2	3	2	3	2回実施した患者満足度調査の平均評価点数が目標値を上回っており、また、自動再来受付機の導入による外来機能の改善や、医事課窓口の配置の見直し等による患者の利便性の向上を図るなど、年度計画が順調に実施されていることから、「評価3」とする。
指標		福岡市民病院											
	平成25年度 実績値	平成26年度 実績値											
患者満足度調査における平均評価点数（100点満点）	91.3	91.2											

中期目標(項目)	第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項 2 患者サービス (2) ボランティアとの共働
----------	--

中期計画	年度計画
第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置 2 患者サービス (2) ボランティアとの共働 ボランティアとの連携による植栽等の構内環境の整備や院内コンサートの実施など，市民・患者の視点に立ったサービス向上に取り組む。	ア こども病院・感染症センター ○ ボランティアとの共働による，構内環境の整備，院内コンサート，病棟・外来ボランティアの実施等拡大に，引き続き努める。 また，新病院では，ボランティアルームを設置し，ボランティアの活動支援・連携強化に向けた体制整備を図る。

中期目標（内容）	ボランティアとの連携を図り，市民・患者の視点に立ったサービス向上のための取組を進めること。
----------	---

評価の判断理由（実施状況等）	自己評価		委員会の評価			
	ウエイト	評価	ウエイト	評価	評価の判断理由・評価のコメントなど	
ア 福岡市立こども病院 ○ 病院移転等もあり，新規ボランティア活動の受入を一部制限したが，韓国福岡青年会議所メンバーによるクリスマスプレゼントの贈呈や，外国航空会社職員がサンタクロースに扮しての病棟訪問，ソフトバンクホークスの選手による病院訪問が行われた。 また，地元大学生による屋上庭園のクリスマスリースの設置や市内ライオンズクラブによるクリスマス・イルミネーションの装飾が行われた。 ○ 新病院開院後はボランティアルームを新設するとともに，新病院でのボランティア活動のさらなる充実に向け，継続可否の意向調査を実施したほか，新たにボランティア委員会を立ち上げるなど，より一層ボランティアとの共働を推進するための取組を強化した。	1	3	1	3	韓国福岡青年会議所メンバーによるクリスマスプレゼントの贈呈や，外国航空会社職員がサンタクロースに扮して病棟を訪問するなど，病棟・外来ボランティアの実施拡大が図られており，また，新病院ではボランティアルームを新設し，ボランティアとの共働を推進する取組が強化されており，年度計画が順調に実施されていることから「評価3」とする。	

中期目標(項目)	第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項 2 患者サービス (2) ボランティアとの共働
----------	--

中期計画	年度計画
第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置 2 患者サービス (2) ボランティアとの共働 ボランティアとの連携による植栽等の構内環境の整備や院内コンサートの実施など，市民・患者の視点に立ったサービス向上に取り組む	イ 福岡市民病院 ○ 大学サークル・市民団体等に積極的に出演交渉し，院内コンサートの回数を増やすとともに，患者対応の院内ボランティア（現在2名）を幅広く募集し，登録者の拡大を図る。

中期目標（内容）	ボランティアとの連携を図り，市民・患者の視点に立ったサービス向上のための取組を進めること。
----------	---

評価の判断理由（実施状況等）	自己評価		委員会の評価		
	ウエイト	評価	ウエイト	評価	評価の判断理由・評価のコメントなど
イ 福岡市民病院 ○ 地域や福岡大学のコーラスグループ，九州大学の落語研究会等の協力により，ダンスショーやコンサート，落語等の院内イベントを計5回開催した。 ○ 院内ボランティアについては，幅広く募集を行った結果，登録者が2名から最大時で5名となり，外来での患者のお世話や入院患者の話し相手，認知症患者の見守り等，患者とのふれあいを大切にした活動を行っていただくとともに，患者の視点からの提案をいただくことにより，より一層きめ細やかな患者サービスが提供できた。 ○ 花の植え替え等花壇の手入れを，毎月1回，4～5名のボランティアの方に行ってもらい，院内の美化に協力していただいた。	1	3	1	3	コンサート等の院内イベントについて，地域や大学の協力により，昨年を上回る5回開催し，また，院内ボランティアの登録者が最大時で5名となるなど，ボランティアとの連携によるサービス向上が図られており，年度計画が順調に実施されていることから，「評価3」とする。

中期目標(項目)	第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項 3 医療の質の向上 (1) 病院スタッフの確保と教育・研修
----------	--

中期計画	年度計画
第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置 3 医療の質の向上 (1) 病院スタッフの確保と教育・研修 ① 職員が働きやすい環境づくりを推進し、優れた人材の確保に努める。 ② 院内研修の充実を図るとともに、外部の専門研修等も活用しながら職員の資質向上を図る。 ③ 積極的に職員に資格取得を奨励し、専門職としての知識・技術の向上を図る。また、資格取得を支援する制度の充実に努める。	ア こども病院・感染症センター ○ 医師が診療に専念しやすいよう、医師にかかる事務処理の負担軽減策を強化するとともに、看護師については、病棟における2交代制勤務の試行の拡充を図るなど、職員が働きやすい環境づくりを推進し、優れた人材の確保に努める。 また、新病院においては、院内保育所の設置や近隣における職員宿舎の確保等、福利厚生面においても職員のワーク・ライフ・バランスを踏まえた対応を図る。 ○ 院内研修については、外部講師の活用等による内容の充実を図るとともに、多くの職員が受講できるよう、実施回数の拡大に努める。 ○ スタッフの専門性や医療技術の向上を図るため、積極的に職員の資格取得を奨励する。また、認定看護師等資格取得支援制度を活用し、有資格者の拡大を図る。

中期目標(内容)	医療水準を向上させるため、医師や看護師を始め、優れた人材の確保に努めること。 また、研修体制の充実などにより、スタッフの専門性や医療技術の向上を図ること。
----------	--

評価の判断理由(実施状況等)	自己評価		委員会の評価		
	ウエイト	評価	ウエイト	評価	評価の判断理由・評価のコメントなど
ア 福岡市立こども病院 ○ 医師については、診療機能充実と新病院への移転を踏まえ、前年度に比べて循環器科1名、小児神経科1名、整形・脊椎外科1名、産科1名、麻酔科1名の正規職員を増員するとともに、医師の事務処理に係る負担軽減を図るため、医師事務作業補助者を2名増員した。 ○ 看護師63名、助産師5名を新規に採用するなど、新病院における集中治療部門等の強化のため、前年度に比べ看護師・助産師を22名増員した。 病棟における2交代制勤務については、新病院への移転に伴い、仮眠室を病棟等に新設し、新たに3病棟において試行を開始した。 ○ 職員のワーク・ライフ・バランスを推進する観点から、新病院に院内保育園や敷地内職員用駐車場を新設するとともに、近隣に職員宿舎を確保するなど、福利厚生面の充実を図った。 ○ 院内研修については、損害保険会社によるクレーム対応をテーマとした医療安全・接遇研修の開催等、外部講師の活用等により内容の充実を図るとともに、全職員が参加しやすいよう、開催回数を増やすなど、職員一人ひとりのスキルアップを図った。 ○ 認定看護師等資格取得支援制度を活用し、新たに皮膚・排泄ケア認定看護師資格において、1名が研修を修了した(当該支援制度による認定看護師取得者1名。院内の認定看護師計3名、専門看護師1名)。また、各部署においても、各種学会への参加や勉強会の開催等に積極的に取り組んだ。	2	4	2	4	人材確保が困難な中、新病院の機能強化に向けて必要な医師・看護師等を確保できたことに加え、職員のワーク・ライフ・バランスの推進及び人材確保の観点から、新病院に院内保育園や敷地内職員駐車場を新設するなど、年度計画を上回って実施していると判断し、「評価4」とする。

中期目標(項目)	第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項 3 医療の質の向上 (1) 病院スタッフの確保と教育・研修
----------	--

中期計画	年度計画
第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置 3 医療の質の向上 (1) 病院スタッフの確保と教育・研修 ① 職員が働きやすい環境づくりを推進し、優れた人材の確保に努める。 ② 院内研修の充実を図るとともに、外部の専門研修等も活用しながら職員の資質向上を図る。 ③ 積極的に職員に資格取得を奨励し、専門職としての知識・技術の向上を図る。また、資格取得を支援する制度の充実に努める。	イ 福岡市民病院 ○ 診療報酬の改定に伴い、休日・深夜の対応等の改善を図ることで医師の負担を軽減するほか、ワーク・ライフ・バランスを推進するために病院全体としては業務手順の見直し等により業務の効率化を図り、時間外勤務の縮減に努めるなど、職員が働きやすい職場環境づくりを推進し、優れた人材の確保に努める。 ○ 臨床検査技師による外来採血、薬剤師による注射液の混注及び退院時服薬指導をより一層推進するとともに、看護補助者、病棟事務担当者を配置することで、看護師の業務負担軽減を図る。 ○ 平成27年1月の病院機能評価3rdG:Ver1.0受審に向け、病院が組織的に医療を提供するための基本的な活動（機能）が、適切に実施されているかどうかを改めて見直し、その実現のために教育・研修体制を強化する。

中期目標（内容）	医療水準を向上させるため、医師や看護師を始め、優れた人材の確保に努めること。 また、研修体制の充実などにより、スタッフの専門性や医療技術の向上を図ること。
----------	--

評価の判断理由（実施状況等）	自己評価		委員会の評価		
	ウエ イト	評 価	ウエ イト	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど
イ 福岡市民病院 ○ ワーク・ライフ・バランス推進プロジェクトにより、業務の効率化や時間外勤務の縮減に取り組むなど、職員が働きやすい職場環境づくりに努めた結果、インデックス調査（職員調査）において、「今の勤務先に長く勤めたい」と回答した職員の割合が上昇（25年度70.1%→26年度72.1%）するとともに、看護職員の離職率は低下した。（25年度12.4%→26年度10.5%） なお、これらの取組が評価され、厚生労働省・中央職業能力開発協会主催の「キャリア支援企業に対する中央職業能力開発協会会長奨励賞」を受賞した。 ○ 臨床検査技師による外来採血、薬剤師による注射液の混注及び退院時服薬指導を徹底するとともに、看護補助者、病棟クラーク（事務担当者）を継続して配置することで、看護師業務の負担軽減を図った。 ○ 医療の質向上のための継続的な改善活動等の取組により、平成27年1月に受審した病院機能評価3rdG：Ver1.0では、病院機能評価に関する審査結果報告87項目のうち、S評価3項目、A評価81項目、B評価3項目と全ての項目において一定の水準以上に達していると認定された。 ○ 認定看護師等資格取得支援制度を活用し、救急看護、糖尿病看護、脳卒中リハビリテーション看護の領域で新たに3名が認定看護師の資格を取得したほか、感染管理の領域で1名が受講を修了した（当該支援制度による資格取得者計9名。院内の認定看護師計11名）。	2	4	2	4	厚生労働省・中央職業能力開発協会から表彰されるなど、ワーク・ライフ・バランス推進プロジェクトの取組等により職場環境に対する職員満足度が向上したことや、医療の質向上のための継続的な改善活動等の取組により、病院機能評価3rdG：Ver1.0において全ての項目が一定の水準以上に達していると評価されたことから、年度計画を上回って実施していると判断し、「評価4」とする。

中期目標(項目)	第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項 3 医療の質の向上 (2) 信頼される医療の実践
----------	---

中期計画	年度計画																						
第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置 3 医療の質の向上 (2) 信頼される医療の実践 ① 院内感染防止マニュアルの整備や定期的な院内感染対策委員会の開催などによる院内感染防止対策を徹底するとともに、医療安全管理者を中心としたリスクマネジメントや医療従事者への教育・研修を実施するなど、医療安全対策の徹底を図る。 ② クリニカルパスを活用した治療内容の可視化や十分な説明に基づくインフォームド・コンセントの徹底を図り、患者中心の医療を実践する。 ③ 薬剤師による薬剤管理指導や管理栄養士による栄養食事指導・相談を充実させ、安全・安心な医療を提供する。	ア こども病院・感染症センター ○ 感染対策室、院内感染対策委員会及び感染制御チーム（ICT）の連携により、院内感染防止対策を徹底するとともに、医療安全管理者を中心としたリスクマネジメントや医療従事者への教育・研修を実施するなど、医療安全対策の徹底を図る。 ○ クリニカルパスの充実により、ケアの標準化、均質化を図り、医療の質の向上に努めるとともに、その活用による治療内容の可視化や十分な説明に基づくインフォームド・コンセントの徹底を図り、患者中心の医療を実践する。 ○ 薬剤師による薬剤管理指導や管理栄養士による栄養食事指導・相談を充実させ、安全・安心な医療を提供する。																						
【目標値】 <table><tr><th rowspan="2">指標</th><th colspan="2">こども病院（新病院）</th></tr><tr><th>平成23年度 実績値</th><th>平成28年度 目標値</th></tr><tr><td>薬剤管理指導件数（件）</td><td>3,369</td><td>4,610</td></tr><tr><td>栄養食事指導・相談件数（件）</td><td>278</td><td>340</td></tr></table>	指標	こども病院（新病院）		平成23年度 実績値	平成28年度 目標値	薬剤管理指導件数（件）	3,369	4,610	栄養食事指導・相談件数（件）	278	340	【目標値】 <table><tr><th rowspan="2">指標</th><th colspan="2">こども病院（新病院）</th></tr><tr><th>平成24年度 実績値</th><th>平成26年度 目標値</th></tr><tr><td>薬剤管理指導件数（件）</td><td>3,351</td><td>3,117</td></tr><tr><td>栄養食事指導・相談件数（件）</td><td>305</td><td>250</td></tr></table>	指標	こども病院（新病院）		平成24年度 実績値	平成26年度 目標値	薬剤管理指導件数（件）	3,351	3,117	栄養食事指導・相談件数（件）	305	250
指標		こども病院（新病院）																					
	平成23年度 実績値	平成28年度 目標値																					
薬剤管理指導件数（件）	3,369	4,610																					
栄養食事指導・相談件数（件）	278	340																					
指標	こども病院（新病院）																						
	平成24年度 実績値	平成26年度 目標値																					
薬剤管理指導件数（件）	3,351	3,117																					
栄養食事指導・相談件数（件）	305	250																					

中期目標(内容)	市民に信頼される安全・安心な医療を提供するため、院内感染防止対策を確実に実施するとともに、医療事故に関する情報の収集・分析に努め、医療安全対策の徹底を図ること。 また、患者が自ら受ける医療の内容を理解し、納得の上で自分に合った治療法を選択できるよう、十分な説明に基づくインフォームド・コンセントを徹底するなど、患者中心の医療を実践すること。
----------	--

評価の判断理由（実施状況等）	自己評価		委員会の評価														
	ウエイト	評価	ウエイト	評価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど												
ア 福岡市立こども病院 ○ 専従の感染管理認定看護師を配置した感染対策室、院内感染対策委員会及び感染制御チーム（ICT）の連携により、院内の体制強化を図るとともに、地域他医療機関との合同カンファレンスの開催や相互サーベイランスを実施するなど、感染防止対策の徹底を図った。 また、医療安全管理室が主体となって年間6回の医療安全院内研修を実施するとともに、安全管理委員会における医療事故防止策の検討、情報収集や改善策の策定など、医療安全対策の徹底を図った。 併せて、関係マニュアルの改訂を行った。 ○ クリニカルパスについては、ケアの標準化、均質化を図り、医療の質の向上に引き続き努めるとともに、治療内容等の診療スケジュールを可視化して、十分な説明に基づくインフォームド・コンセントの徹底に活用し、患者の信頼向上を図った。 ○ 薬剤師による薬剤管理指導については、昨年度に引き続き指導内容の充実に努めるとともに、栄養食事指導についても、管理栄養士と主治医、病棟看護師が連携を図りながら適切に指導を行った。 なお、両指標とも新病院移転等もあり、目標件数を下回った。 【実績値】 <table><tr><th rowspan="2">指標</th><th colspan="2">福岡市立こども病院</th></tr><tr><th>平成25年度 実績値</th><th>平成26年度 実績値</th></tr><tr><td>薬剤管理指導件数 （件）</td><td>3,315</td><td>3,058</td></tr><tr><td>栄養食事指導・相談 件数（件）</td><td>324</td><td>245</td></tr></table>	指標	福岡市立こども病院		平成25年度 実績値	平成26年度 実績値	薬剤管理指導件数 （件）	3,315	3,058	栄養食事指導・相談 件数（件）	324	245	2	3	2	3	感染防止対策の徹底のため、感染対策室等の設置による院内の体制強化と合同カンファレンス等の開催による近隣の医療機関との連携強化を図るとともに、クリニカルパスの標準化、均質化と十分な説明に基づくインフォームド・コンセントの徹底を図るなど、年度計画が順調に実施されていることから、「評価3」とする。	
指標		福岡市立こども病院															
	平成25年度 実績値	平成26年度 実績値															
薬剤管理指導件数 （件）	3,315	3,058															
栄養食事指導・相談 件数（件）	324	245															

中期目標(項目)	第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項 3 医療の質の向上 (2) 信頼される医療の実践
----------	--

中期計画	年度計画																						
第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置 3 医療の質の向上 (2) 信頼される医療の実践 ① 院内感染防止マニュアルの整備や定期的な院内感染対策委員会の開催などによる院内感染防止対策を徹底するとともに、医療安全管理者を中心としたリスクマネジメントや医療従事者への教育・研修を実施するなど、医療安全対策の徹底を図る。 ② クリニカルパスを活用した治療内容の可視化や十分な説明に基づくインフォームド・コンセントの徹底を図り、患者中心の医療を実践する。 ③ 薬剤師による薬剤管理指導や管理栄養士による栄養食事指導・相談を充実させ、安全・安心な医療を提供する。	イ 福岡市民病院 ○ 最新の医学的根拠を基に院内感染防止対策マニュアルの改訂を適宜行い、院内感染防止対策の徹底を行うとともに、感染防止対策の実施設認定医療機関との連携強化を図り、情報の共有化を行う。 ○ 患者が治療内容をより理解できるようインフォームド・コンセントの様式を全面的に見直すとともに、クリニカルパスを活用した事前説明を十分行うなどにより、患者中心の医療を実践する。 ○ 医師事務作業補助者の配置を維持し、医師の負担軽減を図る。 ○ 薬剤師による服薬指導や薬歴管理体制を強化し、副作用の重篤化を回避または未然防止を図るなど患者の安全管理体制を徹底する。 ○ 栄養サポートチーム（NST）の実施体制を拡大することで栄養指導、薬剤管理指導、摂食機能療法を更に充実させ、安心、安全な医療を提供する。																						
【目標値】 <table><tr><th rowspan="2">指標</th><th colspan="2">福岡市民病院</th></tr><tr><th>平成23年度 実績値</th><th>平成28年度 目標値</th></tr><tr><td>薬剤管理指導件数 (件)</td><td>8,644</td><td>8,700</td></tr><tr><td>栄養食事指導・相談 件数 (件)</td><td>1,047</td><td>1,100</td></tr></table>	指標	福岡市民病院		平成23年度 実績値	平成28年度 目標値	薬剤管理指導件数 (件)	8,644	8,700	栄養食事指導・相談 件数 (件)	1,047	1,100	【目標値】 <table><tr><th rowspan="2">指標</th><th colspan="2">福岡市民病院</th></tr><tr><th>平成24年度 実績値</th><th>平成26年度 目標値</th></tr><tr><td>薬剤管理指導件数 (件)</td><td>9,384</td><td>8,700</td></tr><tr><td>栄養食事指導・相談 件数 (件)</td><td>1,065</td><td>1,070</td></tr></table>	指標	福岡市民病院		平成24年度 実績値	平成26年度 目標値	薬剤管理指導件数 (件)	9,384	8,700	栄養食事指導・相談 件数 (件)	1,065	1,070
指標		福岡市民病院																					
	平成23年度 実績値	平成28年度 目標値																					
薬剤管理指導件数 (件)	8,644	8,700																					
栄養食事指導・相談 件数 (件)	1,047	1,100																					
指標	福岡市民病院																						
	平成24年度 実績値	平成26年度 目標値																					
薬剤管理指導件数 (件)	9,384	8,700																					
栄養食事指導・相談 件数 (件)	1,065	1,070																					

中期目標(内容)	市民に信頼される安全・安心な医療を提供するため、院内感染防止対策を確実に実施するとともに、医療事故に関する情報の収集・分析に努め、医療安全対策の徹底を図ること。 また、患者が自ら受ける医療の内容を理解し、納得の上で自分に合った治療法を選択できるよう、十分な説明に基づくインフォームド・コンセントを徹底するなど、患者中心の医療を実践すること。
----------	--

評価の判断理由（実施状況等）	自己評価		委員会の評価													
	ウエイト	評価	ウエイト	評価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど											
イ 福岡市民病院 ○ 院内感染防止対策の充実を図るため、院内感染対策委員会と感染制御チーム（ICT）の連携により、各種検出菌や抗生剤等の使用状況を的確に把握するとともに、全職員対象の院内感染勉強会を2回実施した。また、近隣の医療機関を含めた感染対策ネットワークを継続し、カンファレンスを4回開催した。（参加者数117人）。 ○ 院内で定める「医師のための診療指針」,「職業倫理・臨床倫理ガイドライン」の様式を全面的に見直すとともに、新たなガイドラインを作成・運用し、インフォームド・コンセントの徹底を図ったほか、クリニカルパスについては、新たに糖尿病教育入院、めまい等のパスを策定し、事前説明などの充実を図った結果、適用率は45.8%に達した。 ○ 20対1 医師事務作業補助体制加算の施設基準を満たす医師事務作業補助者の配置を維持し、医師の負担軽減を図った。 ○ 薬剤管理指導については、各病棟に薬剤師が常駐し件数増加に取り組んだ結果、目標値を上回った。 また、投薬事故等の未然防止に向け、院内委員会及び関連学会へのプレアボイド報告（薬剤師がチーム医療の中で服薬指導や薬歴管理を通じて、薬の副作用・相互作用をはじめとした患者の安全管理に寄与した事例報告）を月30件程度行った。 ○ 栄養食事指導については、管理栄養士と医師・看護師・コメディカルと連携強化を図り、従来の糖尿病疾患に加え、他の疾患（肝臓病・心臓病等）も対象として実施し、件数は目標値を上回った。 【目標値】 <table><tr><th rowspan="2">指標</th><th colspan="2">福岡市民病院</th></tr><tr><th>平成25年度 実績値</th><th>平成26年度 実績値</th></tr><tr><td>薬剤管理指導件数 （件）</td><td>8,998</td><td>9,378</td></tr><tr><td>栄養食事指導・相談 件数（件）</td><td>1,140</td><td>1,199</td></tr></table>	指標	福岡市民病院		平成25年度 実績値	平成26年度 実績値	薬剤管理指導件数 （件）	8,998	9,378	栄養食事指導・相談 件数（件）	1,140	1,199	2	4	2	4	院内感染対策委員会と感染制御チーム（ICT）の連携により、院内感染防止対策の充実を図ったことに加え、薬剤管理指導件数及び栄養食事指導・相談件数のいずれも目標値を上回っていることから、年度計画を上回って実施していると判断し、「評価4」とする。
指標		福岡市民病院														
	平成25年度 実績値	平成26年度 実績値														
薬剤管理指導件数 （件）	8,998	9,378														
栄養食事指導・相談 件数（件）	1,140	1,199														

中期目標(項目)	第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項 3 医療の質の向上 (3) 法令遵守と情報公開
----------	--

中期計画	年度計画
第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置 3 医療の質の向上 (3) 法令遵守と情報公開 ① 関係法令や内部規定の遵守などコンプライアンスを徹底するとともに、内部統制を確実に実施することにより、適正な病院運営を行う。 ② 個人情報保護及び情報公開に関しては、福岡市の関係条例等及び当法人の情報セキュリティポリシーに基づき、適切に対応する。 ③ 法人の経営状況、両病院の役割や医療内容のほか、地域の医療機関との連携等について、ホームページや広報誌等を通じ、積極的な情報発信に取り組み、市民に開かれた病院づくりを進める。	○ 関係法令や内部規定の遵守などコンプライアンスを徹底するとともに、監事（弁護士、公認会計士）による業務監査及び会計監査の実施に加え、外部の監査法人と連携して業務管理や会計処理等に関する監査を実施する等、内部統制を確実に実施するほか、病院として医療法、施設基準等を遵守するなど適正な病院運営を行う。 ○ 個人情報保護及び情報資産に関しては、福岡市の関係条例等及び当法人の情報セキュリティポリシーに基づき、適切に対応するとともに、研修等を通じて職員の教育を徹底するほか、カルテ等の情報公開に関しては、診療録開示委員会を開催して開示の可否を決定する。 ○ 法人の経営状況、各病院の役割や医療内容のほか、地域の医療機関との連携等について、ホームページや広報誌等を通じ、積極的な情報発信に取り組み、市民に開かれた病院づくりを進める。 特に、新病院の開院に向けては、新病院における医療機能等を分かりやすく説明する病院案内パンフレットの発刊を行うとともに、ホームページのリニューアル等を通じて情報発信に努める。

中期目標（内容）	市立病院としての使命を適切に果たすため、医療法を始めとする関係法令を遵守することはもとより、行動規範と倫理を確立し、適正な病院運営を行うこと。 また、個人情報保護及び情報公開に関しては、福岡市個人情報保護条例（平成17年福岡市条例第103号）及び福岡市情報公開条例（平成14年福岡市条例第3号）に基づき、適切に対応すること。 さらに、病院の役割や医療内容等を積極的に情報発信するなど、市民に開かれた病院づくりに努めること。
-----------------	--

評価の判断理由（実施状況等）	自己評価		委員会の評価		
	ウエ イト	評 価	ウエ イト	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど
○ 法人全体の業務の適正及び効率性の検証を行うため、監事（弁護士、公認会計士）による業務監査及び会計監査の実施に加え、業務管理に関する監査を実施するなど、内部統制の充実を図った。 ○ 個人情報保護及び情報公開に関しては、福岡市の関係条例等及び当法人の情報セキュリティポリシーに基づき、適切に対応するとともに、研修等を通じて職員の教育を徹底した。 また、カルテ等の情報公開については、両病院ともに診療録（カルテ）開示委員会を開催して開示の可否を決定した（こども病院13件、福岡市民病院29件）。 ○ 情報発信については、こども病院において、新病院での診療内容等を分かりやすく紹介した冊子を3,000部発行し、開院記念式典や施設見学会等で配布したほか、新病院の特集記事で構成した広報誌「みらい」の特別号を3,000部発行し、院外行事等で配布した。 また、新病院移転に伴い、利用者向けの診療内容等の案内、地域の医療機関向けの紹介方法や医療機能の案内、求職者向けの求人情報や研修等の案内などに関し、ホームページの全面的なリニューアルを行い、情報発信を強化した。 ○ 福岡市民病院においても、院内活動をまとめた年報「アイリス」や診療情報誌「ふれあい」、季刊誌「FCH」等を発行し、近隣のクリニックや病院へ配布するなど、病院の役割や医療内容等の情報を発信するとともに、随時ホームページの更新を行い、市民に開かれた病院づくりを行った。	1	3	1	3	監事監査に加え、業務管理に関する監査を実施し内部統制の充実を図り、また、個人情報保護及び情報公開に関して、福岡市の関係条例等に基づいて適切に対応するとともに、市民に開かれた病院づくりのため、広報誌の発行やホームページの更新を随時行うなど、年度計画が順調に実施されていることから、「評価3」とする。

中期目標(項目)	第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項 1 自律性・機動性の高い運営管理体制の充実
----------	---

中期計画	年度計画
第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置 1 自律性・機動性の高い運営管理体制の充実 ① 理事会を適正に運営し，外部理事等の助言に基づく民間的経営手法も取り入れながら自律的な法人経営を行う。 ② 医療情勢の変化や患者のニーズに効果的な対応ができるよう，病院長のリーダーシップの下，各病院の実態に即した機動性の高い病院経営を行う。	○ 理事会を適正に運営し，外部理事等の助言に基づく民間的経営手法も取り入れながら自律的な法人経営を行う。 ○ 医療情勢の変化や患者のニーズに効果的な対応ができるよう，病院長のリーダーシップの下，各病院の実態に即した機動性の高い病院経営を行う。

中期目標（内容）	地方独立行政法人制度の特長を活かし、各病院が自らの特性や実情を踏まえ、より機動的に業務改善ができるよう、各病院において病院長がリーダーシップを発揮し、自律性を発揮できる運営管理体制の充実を図ること。
----------	---

評価の判断理由（実施状況等）	自己評価		委員会の評価			
	ウエ イト	評 価	ウエ イト	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど	
○ 市立病院機構の運営を的確に行うため、理事会を計11回開催し、理事会の決定方針に沿った運営を行った。 ○ こども病院においては、医療情勢の変化や患者ニーズへの効果的な対応に向け、全国こども病院診療情報管理研究会の場で診療報酬制度における小児特有の問題点等について意見交換するなど、経営改善に資する情報の収集に努めた。 また、病院長のリーダーシップの下、年度目標の達成に向け、院内での運営委員会や診療科長等情報連絡協議会において、情報の共有化を図り、自律的・機動的な病院経営を行った。 ○ 福岡市民病院においては、院長のリーダーシップの下、経営五役会議を定期的に行い、病院としての意思決定を迅速に行うことにより、現場の実態に即した機動性の高い病院経営を行った。	1	3	1	4	理事会を定期的に行い、決定方針に沿った運営を行い、また、院長のリーダーシップの下、両病院の現場の実態に即した機動性の高い病院経営を行っており、年度計画を上回って実施していると判断し、「評価4」とする。	

中期目標（項目）	第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項 2 事務部門等の専門性の向上
中期計画	年度計画
第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置 2 事務部門等の専門性の向上 ① 病院経営に関する知識・経験を有する人材をプロパー職員として計画的に採用し、事務部門及び経営管理部門の専門性の向上を図る。 ② 医療を取り巻く情報を的確に収集・分析し経営に反映するなどの戦略機能を強化するため、経営に関する研修やO J T（On the Job Training）の充実を図り、経営感覚に優れた職員の育成に努める。	○ 病院経営に関する知識・経験を有する人材をプロパー職員として計画的に採用し、事務部門及び経営管理部門の専門性の向上を図る。 ○ 病院経営に関する研修やO J T（On the Job Training）の充実を図るとともに、両病院，本部事務局間の人事異動を適宜行うことで，事務部門，経営管理部門を活性化し，経営感覚に優れた職員の育成に努める。

中期目標(内容)	事務部門等においては、病院運営に関する専門知識や経営感覚を持ったプロパー職員の計画的な採用に努めるとともに、経営手法の企画・立案に関する戦略機能を強化するため、各病院の経営支援を的確に行える人材の育成に努めること。
----------	---

評価の判断理由(実施状況等)	自己評価		委員会の評価			
	ウエ イト	評 価	ウエ イト	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど	
○ 他病院の情報収集や経営分析を強化するため、診療情報管理士有資格者2名を採用し、福岡市民病院経営企画課と医事課に配属したほか、地域医療ビジョン対応に向け、新たに病院事務経験者1名を福岡市民病院地域医療連携室に配置し、事務部門の体制強化を図った。 ○ 事務局全体の機能強化を図るため、今後の事務職員の人材育成・活性化のための方向性と具体的な取組を示した「事務職員人材育成プラン」を踏まえ、両病院及び運営本部の事務局間において人事異動を実施した。 ○ マネジメント能力向上を目的に全職種を対象とした監督者研修のほか、新たに主任級職員に対する研修を実施した。 また、両病院及び運営本部共通の研修会を月1回開催し、事務職員の資質向上を図った。 ○ こども病院においては、事務局職員を対象とした病院事業に係る院内研修を定期的で開催するなど、病院事務職員として必要な知識の習得や基礎的能力の育成に努めた。 ○ 福岡市民病院においては、病院経営に関するスキルアップのため、次世代を担う中堅職員を、一般社団法人日本病院会が開催する「病院中堅職員育成研修」に毎年参加させており、平成26年度は「経営管理コース」を1名が受講した。	1	3	1	3	診療情報管理士有資格者等を採用し、地域医療ビジョン対応に向けた事務部門の体制強化と「事務職員人材育成プラン」を踏まえた両病院及び運営本部事務局間の積極的な人事異動による事務局全体の機能強化を図り、また、両病院において病院経営に関する研修への参加を推進して事務職員の資質向上に努めるなど、年度計画が順調に実施されていることから、「評価3」とする。	

中期目標(項目)	第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項 3 意欲を引き出す人事・給与制度等の導入
-----------------	--

中期計画	年度計画
第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置 3 意欲を引き出す人事・給与制度等の導入 ① 職員満足度調査等の実施により職員のニーズを把握し、職員の意欲を引き出す人事制度を構築するとともに、福利厚生の実施や職場環境の改善に努める。 ② 病院の業績を考慮し、かつ、社会一般の情勢に適合した給与制度を維持し、人件費の適正化を図る。 ③ 職員の業績や貢献度等を適正に評価し、評価結果を給与に反映させる人事評価制度について、医師に本格導入するとともに、他の職種への導入についても検討を進める。	○ 職員のニーズに対応した福利厚生の実施や職場環境の改善に努めるとともに、平成26年2月に策定した人材育成プランに基づき、事務職に主任制度を導入する等、職員の意欲を引き出す人事制度を構築する。 ○ 病院の業績を考慮し、かつ、社会一般の情勢に適合した給与制度を維持し、人件費の適正化を図る。 ○ 平成23年度から試行中の医師を対象とした人事評価制度については、平成26年度から本格導入する。

中期目標（内容）	職員の意欲を引き出す人事制度を構築し、職員の業績や能力を的確に評価するための公正かつ客観的な人事評価システムの導入に努めること。 また、病院の業績等に応じた給与制度を導入し、職員のモチベーションの維持・向上及び人件費の適正化を図ること。 さらに、福利厚生の実質や職場環境の整備など、職員が働きやすい環境の確保に努めること。
----------	--

評価の判断理由（実施状況等）	自己評価		委員会の評価			
	ウエイト	評価	ウエイト	評価	評価の判断理由・評価のコメントなど	
○ 職員のニーズに対応した福利厚生の実質のため、こども病院に院内保育園や敷地内職員用駐車場を新設するとともに、近隣に職員宿舎を確保し、また、福岡市民病院においても、救急診療棟に更衣・休憩室やシャワー室などを整備するなど、職員が働きやすい職場環境の整備に努めた。 ○ 福岡市民病院においては、ワーク・ライフ・バランス推進プロジェクト委員会において、時間外勤務の縮減や院内ルールの周知徹底に取り組んだほか、病児保育に関する情報提供等の支援を行った。 ○ 事務職員人材育成プランに基づき、係長の補佐的要素が強い業務や他部門との調整を要する業務を円滑に実施するために「主任事務」のポストを新たに設置するなど、職員の意欲を引き出す人事制度を構築した。 ○ 病院の業績を考慮し、かつ、社会一般の情勢に適合した給与制度とするため、人事院勧告等を踏まえた給与表や諸手当等の改定を行った。 ○ 平成23年度から導入した医師を対象とした人事評価制度については、3年間の試行の効果等を検証し、必要な改善策を講じたうえで、平成26年度から本格導入した。 また、医師以外の職種についても、職員の業績や貢献度等を適正に評価し、最終的には処遇面等に活かすことで職員の意欲の維持・向上及び業務運営の改善を図ることを目的に、平成27年度から試行する管理職目標管理制度を整備した。	1	3	1	3	職員のニーズに対応した福利厚生の実質や職員が働きやすい職場環境の整備に努め、また、職員の給与について、社会一般情勢に適合するよう所要の改訂等を行うとともに、医師の人事評価制度を3年間の試行期間を経て平成26年度から本格導入し、医師以外の職種についても平成27年度から試行する管理職目標管理制度を導入するなど、年度計画が順調に実施されていることから、「評価3」とする。	

中期目標(項目)	第4 財務内容の改善に関する事項 1 経営基盤の強化 (1) 運営費負担金の縮減に向けた経営基盤の確立
----------	---

中期計画	年度計画
第4 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置 1 経営基盤の強化 (1) 運営費負担金の縮減に向けた経営基盤の確立 ① 運営費負担金の対象となる不採算医療部門については、収支差の圧縮に向けた更なる経営の効率化に取り組み、運営費負担金の縮減に努める。 ② 新病院の開院に伴う施設整備費の償還など、今後、運営費負担金の増額要因が加わるため、新病院稼働後は早期の安定経営を目指すことに加え、市立病院機構全体でこれまで以上の経営努力を行う。	○ 運営費負担金の縮減に向けた経営基盤を確立するため、不採算医療部門については、収支差の圧縮に向け、経営改善のために取り組むべき課題を明確にし、増収及び費用削減に取り組むとともに、月次決算の実施など経営に関する情報を迅速に把握し、部門ごとの経営状況の分析や他病院との比較分析を行うなど、効率的な病院経営を行う。 また、部門ごとに具体的な目標を設定し、その達成状況を適宜確認するなど経営管理を徹底する。

中期目標(内容)	福岡市の厳しい財政状況を踏まえると、引き続き市立病院機構全体の運営費負担金の縮減が求められることから、更なる経営の効率化や健全化に向けた取組を進め、安定した経営基盤を確立すること。
----------	--

評価の判断理由(実施状況等)	自己評価		委員会の評価			
	ウエ イト	評 価	ウエ イト	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど	
○ 毎月、法人の経営幹部（理事長，副理事長，本部事務局長，病院事務局長，看護部長）で構成する「経営会議」を開催し，月次の経営管理諸表により，随時，経営状況を検証するとともに，四半期ごとに課題を分析のうえ，適切な改善策を講じるなどの経営管理を徹底し，積極的な増収対策や費用削減とあわせ効率的な病院経営を行った。 ○ こども病院においては，年度目標の達成に向け，院内での運営委員会や診療科長等情報連絡協議会において情報の共有を図り，経営情報の迅速な把握に努めるとともに，年度計画を基に部門ごとに具体的な目標を設定し，達成度を評価するなど経営管理を徹底した。 また，新病院においては周産期センター，手術部門や集中治療室の拡充，新たな診療科の開設など，医療機能の強化を図り，運営費負担金の縮減に向けて，より高度な医療を提供できる体制を整備した。 ○ 福岡市民病院においては，月2回の経営五役会議において，経営改善のために取り組むべき喫緊の課題を明確にし，具体的な実施項目を設け，その達成状況を適宜確認した。 また，毎月の所属長会議において，病院全体及び部門ごとに設定した各目標の実績を取りまとめたモニタリング資料を提示し，その達成状況を確認するとともに，目標未達事項について検討を行う等，病院全体で経営管理の徹底に努めた。 さらに，診療科毎に院長ヒアリングを年2回以上実施し，診療内容や経営に関する具体的な目標設定と達成状況の確認を行い，経営管理を徹底した。	2	3	2	3	毎月，経営幹部で構成する「経営会議」を開催し，経営状況の検証を行い，改善策を講じるなど経営管理を徹底し，積極的な増収対策や費用削減とあわせ効率的な病院経営を行うとともに，新病院においては，新たな診療科の開設等により医療機能の強化を図り，運営費負担金の縮減に向けて，より高度な医療を提供できる体制を整備し，また，福岡市民病院においては，診療科毎に院長ヒアリングを年2回以上実施し，診療内容や経営に関する具体的な目標設定と達成状況の確認を行い，経営状況を徹底するなど，年度計画が順調に実施されていることから，「評価3」とする。	

中期目標 (項目)	第4 財務内容の改善に関する事項 1 経営基盤の強化 (2) 投資財源の確保
中期計画	年度計画
第4 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置 1 経営基盤の強化 (2) 投資財源の確保 独立採算制を前提とした公営企業型地方独立行政法人の会計制度の趣旨に鑑み、今後の投資計画を踏まえた自己財源の確保に努める。	○ 独立採算制を前提とした公営企業型地方独立行政法人の会計制度の趣旨に鑑み、今後の施設整備や高額医療機器の更新等に関する計画を踏まえた自己財源の確保に努める。

中期目標（内容）	施設整備や高額医療機器の更新など、今後の投資計画を踏まえながら、自己財源の確保に努めること。
----------	--

評価の判断理由（実施状況等）	自己評価		委員会の評価			
	ウエイト	評価	ウエイト	評価	評価の判断理由・評価のコメントなど	
○ 自己財源の確保対策として、収支改善による利益の確保とともに、複数の金融機関を対象に定期預金の利率の入札を継続して実施し、積立金運用益の確保を図った。 ○ 新病院の医療機器整備については、今後の施設整備や高額医療機器の更新等を見据え、コンサルタントの活用や徹底した価格交渉等により、必要な医療機器を確保しつつ費用の抑制を図るなど、効率的に予算を執行し、自己財源の確保に努めた。	1	3	1	3	自主財源の確保対策として、収支改善による利益の確保と入札の実施による積立金運用益の確保を図るとともに、新病院の医療機器整備については、徹底した価格交渉等により、費用の抑制を図るなど、効率的に予算を執行し、自己財源の確保に努めており、年度計画が順調に実施されていることから「評価3」とする。	

中期目標(項目)	第4 財務内容の改善に関する事項 2 収支改善 (1) 増収
中期計画	年度計画
第4 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置 2 収支改善 (1) 増収 ① 診療体制の充実等による医療の高度化に取り組むとともに、効率的な病床管理や高度医療機器の稼働率向上に努め、収入増を図る。 ② 診療報酬改定等の医療情勢の変化に迅速に対応して適切な施設基準の取得を行い、収入の確保に努める。 ③ 診療報酬請求に係るチェック体制を強化するとともに、医療費の未収金発生防止や確実な回収に努める。 ④ こども病院については、新病院への移転に伴い、患者の安全を最優先とするため、移転前後は診療行為の一部が制限されるが、その影響を最小限に止めるよう努力する。 ⑤ 福岡市民病院については、年々増加傾向にある市内の救急搬送状況に対応するため、救急部の医師・看護師を増員するとともに救急診療室を拡張し、救急搬送受入件数の拡大を図る。	ア こども病院・感染症センター ○ 現病院においては、新病院への移転に伴い、患者の安全を最優先とするため段階的に診療調整等を行わざるを得ないが、新病院開院前後において、職員の習熟度向上等を目的とした研修等を計画的に実施し、できるだけ早く病床利用率の回復に努める。 ○ 診療報酬改定にあたり、迅速に対応するとともに、適切な施設基準の取得を行う。 ○ 治験業務について、製造販売後調査に加え、検証的臨床試験(実際の治療に近い形での効果と安全性の確認)を継続して実施し、積極的に治験収入の増加に努める。 ○ レセプトチェックシステムを最大限に活用し、査定減の内容分析や対策を行うとともに、医師との情報共有及び連携強化によって診療報酬請求の精度向上を図る。 また、医療ソーシャルワーカーによる患者相談の充実、督促業務に精通した事務職員の配置等により、医療費の未収金発生防止に努めるとともに、電話、文書による督促や個別相談及び少額訴訟の活用等により、未収金の確実な回収を図る。

中期目標(内容)	診療体制の充実や効率的な病床利用及び高度医療機器の稼働率向上に努めるとともに、診療報酬改定等の医療環境の変化に的確に対応し、増収を目指すこと。 また、医療費の未収金発生防止や確実な回収に努めること。
----------	---

評価の判断理由(実施状況等)	自己評価		委員会の評価			
	ウエイト	評価	ウエイト	評価	評価の判断理由・評価のコメントなど	
ア 福岡市立こども病院 ○ 新病院移転に伴う診療調整については、患者の安全を最優先としつつ、こども病院の社会的使命を損なうことのないよう、必要最小限に留めるため、外来診療については10月30日から11月4日までを休診とし、入院の新規受入を停止した。 このため、旧病院における10月の1日平均入院患者数は89.3名(病床利用率47%)、新病院において11月は71.2名(30.6%)と一時的に減少したものの、12月には118.4名(50.8%)、1月には125.6名(53.9%)、2月には140名(60.1%)、3月には160.7名(69.0%)と順調に回復し、新旧病院を合わせた医業収益は当初予算額(55億1,200万円余)を上回る55億9,700万円余となった。 ○ 診療報酬改定にあたり、施設基準に大幅な変更のあった項目(特定集中治療室管理料、新生児特定集中治療室管理料等)について、全国こども病院診療情報管理研究会参加病院との意見交換を行うなど、迅速な情報収集に努めた。 ○ 治験業務については、製造販売後調査に加え、検証的臨床試験(実際の治療に近い形での効果と安全性の確認)を継続して実施した。 平成26年度は泌尿器科、小児感染症科、小児神経科において新規案件を開始し、治験収入が752万円余となり、前年度に比べ388万円余の増となった。 ○ レセプトチェックシステムを最大限に活用して、査定内容を分析し、必要な対策を講じるとともに、医師との情報共有及び連携強化によって診療報酬請求の精度向上を図り、査定率が0.28%から0.27%に改善した。 また、督促業務に精通した事務職員を配置し、医療費の未収金発生防止に努めるとともに、電話、文書による督促や個別相談の活用により、確実な回収を図った。	2	3	2	3	新病院移転に伴う診療調整により、10月、11月の病床利用率が一時的に減少したがその後回復し、新旧病院を併せた医業収益について当初予算を上回るとともに、治験業務について泌尿器科等で新規案件を開始し、前年度比で388万円余の増収となり、また、督促業務に精通した事務職員を配置し、医療費の未収金発生防止と確実な回収を図るなど、年度計画が順調に実施されていることから、「評価3」とする。	

中期計画			年度計画		
【目標値】 《再掲》			【目標値】 《再掲》		
指標	こども病院（新病院）		指標	こども病院（新病院）	
	平成23年度 実績値	平成28年度 目標値		平成24年度 実績値	平成26年度 目標値
1人1日当たり 入院単価（円）	100,367	97,700	1人1日当たり 入院単価（円）	100,689	102,800
1人1日当たり 外来単価（円）	11,966	12,900	1人1日当たり 外来単価（円）	13,350	11,860
1日当たり 入院患者数（人） （病床利用率（％））	145.9 (76.8)	208.5 (89.5)	1日当たり 入院患者数（人） （病床利用率（％））	141.6 (74.5)	127.0 (61.1)
新規入院患者数(人)	4,899	6,400	新規入院患者数(人)	4,599	4,368
平均在院日数（日）	9.9	11.9	平均在院日数（日）	10.2	10.6
1日当たり 外来患者数（人）	276.7	387.4	1日当たり 外来患者数（人）	269.6	247.0
手術件数（件）	2,212	2,720	手術件数（件）	2,155	1,831
救急搬送件数（件）	639	1,020	救急搬送件数（件）	630	606

評価の判断理由（実施状況等）	自己評価		委員会の評価																															
	ウ エ イ ト	評 価	ウ エ イ ト	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど																													
【実績値】 《再掲》 <table><tr><th rowspan="2">指標</th><th colspan="2">福岡市立こども病院</th></tr><tr><th>平成25年度 実績値</th><th>平成26年度 実績値</th></tr><tr><td>1人1日当たり 入院単価（円）</td><td>105,974</td><td>104,104</td></tr><tr><td>1人1日当たり 外来単価（円）</td><td>11,468</td><td>11,405</td></tr><tr><td>1日当たり 入院患者数（人） （病床利用率（％））</td><td>140.1 (73.7)</td><td>127.6 (61.4)</td></tr><tr><td>新規入院患者数(人)</td><td>4,554</td><td>4,242</td></tr><tr><td>平均在院日数（日）</td><td>10.2</td><td>10.0</td></tr><tr><td>1日当たり 外来患者数（人）</td><td>274.8</td><td>258.1</td></tr><tr><td>手術件数（件）</td><td>2,123</td><td>1,877</td></tr><tr><td>救急搬送件数（件）</td><td>577</td><td>589</td></tr></table>	指標	福岡市立こども病院		平成25年度 実績値	平成26年度 実績値	1人1日当たり 入院単価（円）	105,974	104,104	1人1日当たり 外来単価（円）	11,468	11,405	1日当たり 入院患者数（人） （病床利用率（％））	140.1 (73.7)	127.6 (61.4)	新規入院患者数(人)	4,554	4,242	平均在院日数（日）	10.2	10.0	1日当たり 外来患者数（人）	274.8	258.1	手術件数（件）	2,123	1,877	救急搬送件数（件）	577	589					
指標		福岡市立こども病院																																
	平成25年度 実績値	平成26年度 実績値																																
1人1日当たり 入院単価（円）	105,974	104,104																																
1人1日当たり 外来単価（円）	11,468	11,405																																
1日当たり 入院患者数（人） （病床利用率（％））	140.1 (73.7)	127.6 (61.4)																																
新規入院患者数(人)	4,554	4,242																																
平均在院日数（日）	10.2	10.0																																
1日当たり 外来患者数（人）	274.8	258.1																																
手術件数（件）	2,123	1,877																																
救急搬送件数（件）	577	589																																

中期目標(項目)	第4 財務内容の改善に関する事項 2 収支改善 (1) 増収
中期計画	年度計画
第4 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置 2 収支改善 (1) 増収 ① 診療体制の充実等による医療の高度化に取り組むとともに、効率的な病床管理や高度医療機器の稼働率向上に努め、収入増を図る。 ② 診療報酬改定等の医療情勢の変化に迅速に対応して適切な施設基準の取得を行い、収入の確保に努める。 ③ 診療報酬請求に係るチェック体制を強化するとともに、医療費の未収金発生防止や確実な回収に努める。 ④ こども病院については、新病院への移転に伴い、患者の安全を最優先とするため、移転前後は診療行為の一部が制限されるが、その影響を最小限に止めるよう努力する。 ⑤ 福岡市民病院については、年々増加傾向にある市内の救急搬送状況に対応するため、救急部の医師・看護師を増員するとともに救急診療室を拡張し、救急搬送受入件数の拡大を図る。	イ 福岡市民病院 ○ 別館工事完成後は、人員の適正配置や救急の受け入れ体制の整備等、別館の機能の効率的運用を行い、救急医療体制の充実を図ることで救急患者（重症患者）の増加、手術件数の増加を図る。 ○ 手術室の効率的な運用等の体制整備により、難易度や専門性の高い手術件数の増加を図る。 ○ 理学療法士、作業療法士の増員による脳血管リハビリテーションの上位基準を取得し(脳血管リハビリⅡ→脳血管リハビリⅠ)、リハビリ提供体制の更なる充実を図る。 ○ 紹介率向上のため、地域医療連携の強化・充実を図り、新規入院患者数の増加を目指す。 ○ 地域医療支援病院として、開放型病床の更なる利用促進を図るとともに、回復期リハビリテーション病院との連携パスを利用した切れ目のない地域医療連携の推進により、効率的な病床管理や高度医療機器の稼働率の向上を図る。 ○ クリニカルパス数を増やすことで、早期退院を実現し、平均在院日数の短縮につなげることで、診療単価の上昇を図る。 ○ 未収金に対しては、電話、文書による督促や個別相談及び少額訴訟の実施等により確実な回収を図るとともに、回収困難案件に関しては、弁護士事務所等への業務委託を開始する。

中期目標(内容)	診療体制の充実や効率的な病床利用及び高度医療機器の稼働率向上に努めるとともに、診療報酬改定等の医療環境の変化に的確に対応し、増収を目指すこと。 また、医療費の未収金発生の防止や確実な回収に努めること。
----------	--

評価の判断理由（実施状況等）	自己評価		委員会の評価		
	ウエイト	評価	ウエイト	評価	評価の判断理由・評価のコメントなど
イ 福岡市民病院 ○ 医業収益については、53億1,000万円余となり、前年度実績を約4億2,400万円上回った。この増収の要因としては、 ・救急搬送件数の増加（対目標値335件増） ・紹介患者の増加（紹介率：対目標値1.5%増） ・手術件数の増加（対目標値292件増） ・新規入院患者数の増加（対目標値47件増） 等があり、その結果、高度医療・高度救急医療の指標である入院単価が上昇した。（対目標値1,763円増） ○ 特に、救急診療棟の完成後、人員の適正配置や救急患者の受入体制の整備を行うなど、救急医療体制の充実を図ったことにより、上記の大幅な増収に貢献した。 ○ 地域医療支援病院として、開放型病床の更なる利用促進や高額医療機器の共同利用の推進を図り、地域医療機関との適切な連携を行った。（前年度利用延べ件数864件→今年度利用延べ件数1,038件） ○ 脳血管内治療（専門医の配置）、経皮的冠動脈形成術（心臓用X線血管造影室の設置による心疾患救急受入の拡充）、腹部大動脈ステント挿入術等の難易度・専門性の高い手術件数が増加した。その結果、入院の手術収益は15億円余となり、前年度実績を約2億円上回った。 ○ 理学療法士、作業療法士の増員による脳血管リハビリテーション料の上位基準の取得（脳血管リハビリⅡ→Ⅰ）や心疾患の患者増加に対応して、心大血管リハビリテーション料（Ⅱ）を新たに収得するなど、リハビリ提供体制の更なる充実を図った。 ○ 未収金については、少額訴訟の実施、法律事務所への業務委託開始などの取組により回収に努め、未収金額を大幅に圧縮した。	2	4	2	4	救急搬送件数、紹介率、手術件数、新規入院患者数の増加等により、医業収益は前年度実績を大きく上回っており、年度計画を上回って実施していると判断し、「評価4」とする。

中期計画			年度計画		
【目標値】 《再掲》			【目標値】 《再掲》		
指標	福岡市民病院		指標	福岡市民病院	
	平成23年度 実績値	平成28年度 目標値		平成24年度 実績値	平成26年度 目標値
1人1日当たり 入院単価（円）	57,617	64,500	1人1日当たり 入院単価（円）	59,485	62,000
1人1日当たり 外来単価（円）	15,413	16,000	1人1日当たり 外来単価（円）	15,746	16,000
1日当たり 入院患者数（人） （病床利用率（％））	186.0 (93.0)	184.0 (92.0)	1日当たり 入院患者数（人） （病床利用率（％））	184.5 (92.3)	184.0 (92.0)
新規入院患者数（人）	4,386	4,900	新規入院患者数（人）	4,527	4,600
平均在院日数（日）	12.6	11.6	平均在院日数（日）	12.1	12.0
1日当たり 外来患者数（人）	236.5	250.0	1日当たり 外来患者数（人）	248.9	248.0
手術件数（件）	2,619	2,750	手術件数（件）	2,742	2,700
救急搬送件数（件）	2,323	3,100	救急搬送件数（件）	2,429	2,500

評価の判断理由（実施状況等）	自己評価		委員会の評価																															
	ウ エ イ ト	評 価	ウ エ イ ト	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど																													
【実績値】《再掲》 <table><tr><th rowspan="2">指標</th><th colspan="2">福岡市民病院</th></tr><tr><th>平成25年度 実績値</th><th>平成26年度 実績値</th></tr><tr><td>1人1日当たり 入院単価（円）</td><td>59,254</td><td>63,763</td></tr><tr><td>1人1日当たり 外来単価（円）</td><td>16,141</td><td>17,609</td></tr><tr><td>1日当たり 入院患者数（人） （病床利用率（％））</td><td>177.9 (88.9)</td><td>179.5 (89.7)</td></tr><tr><td>新規入院患者数（人）</td><td>4,349</td><td>4,647</td></tr><tr><td>平均在院日数（日）</td><td>11.8</td><td>11.9</td></tr><tr><td>1日当たり 外来患者数（人）</td><td>242.8</td><td>243.8</td></tr><tr><td>手術件数（件）</td><td>2,761</td><td>2,992</td></tr><tr><td>救急搬送件数（件）</td><td>2,472</td><td>2,835</td></tr></table>	指標	福岡市民病院		平成25年度 実績値	平成26年度 実績値	1人1日当たり 入院単価（円）	59,254	63,763	1人1日当たり 外来単価（円）	16,141	17,609	1日当たり 入院患者数（人） （病床利用率（％））	177.9 (88.9)	179.5 (89.7)	新規入院患者数（人）	4,349	4,647	平均在院日数（日）	11.8	11.9	1日当たり 外来患者数（人）	242.8	243.8	手術件数（件）	2,761	2,992	救急搬送件数（件）	2,472	2,835					
指標		福岡市民病院																																
	平成25年度 実績値	平成26年度 実績値																																
1人1日当たり 入院単価（円）	59,254	63,763																																
1人1日当たり 外来単価（円）	16,141	17,609																																
1日当たり 入院患者数（人） （病床利用率（％））	177.9 (88.9)	179.5 (89.7)																																
新規入院患者数（人）	4,349	4,647																																
平均在院日数（日）	11.8	11.9																																
1日当たり 外来患者数（人）	242.8	243.8																																
手術件数（件）	2,761	2,992																																
救急搬送件数（件）	2,472	2,835																																

中期目標(項目)	第4 財務内容の改善に関する事項 2 収支改善 (2) 費用削減
中期計画	年度計画
第4 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置 2 収支改善 (2) 費用削減 ① 診療材料等の調達に係る価格交渉の徹底、契約手法や委託業務の見直し及びジェネリック医薬品の使用拡大等を行い、費用の削減を図る。 ② 両病院ともに施設・設備のアセットマネジメントを推進する。 ③ 新病院開院後は本部事務局を新病院内に移転するため、病院事務局との業務分担を再編し、本部機能及び病院運営に係る事務処理を効率的・効果的に遂行できる組織体制を構築する。	○ コストパフォーマンスを考慮した診療材料の選定や診療材料等の調達に係る価格交渉の徹底、契約手法や委託業務の見直し及びジェネリック医薬品の使用拡大等に取り組み、費用の削減を図る。 ○ 施設・設備のアセットマネジメントを推進するとともに、省エネ対策への更なる取組により、維持修理に係る費用の削減を図る。 ○ 新病院関連では、LED照明や太陽光発電を活用して省エネ対策を推進するほか、必要な医療機器や医療情報システムの調達にあたっては、機種を選定や契約方法を工夫するとともに、価格交渉を徹底し、購入費用の削減を図る。 ○ 新病院開院に伴い、本部事務局及び病院事務局が新病院内に移転することから業務分担の効率化を図るため、組織体制を再編し、人件費の削減を図る。 また、新病院運営に係る事務処理を効果的に遂行するため、知識・経験を持った職員を適切に配置する。

中期目標（内容）	地方独立行政法人の会計制度を活用した効果的・効率的な事業運営に努めるとともに、効果的な費用の削減に努めること。 また、計画的な維持修理による施設の長寿命化と投資の平準化、施設運営・保守管理の効率化などのアセットマネジメントを推進すること。
----------	---

評価の判断理由（実施状況等）	自己評価		委員会の評価		
	ウエイト	評価	ウエイト	評価	評価の判断理由・評価のコメントなど
○ 両病院ともに、コストパフォーマンスを考慮した診療材料等の選定や委託等に係る複数年契約の導入とともに、価格交渉を徹底し、費用削減に取り組んだ。 ○ アセットマネジメント推進の観点から、新病院では、耐用年数が高い給水管や耐候性・耐久性に優れた外壁の仕上げ剤素材を使用するとともに、LED照明、太陽光発電及び再生水・雨水の活用のほか、ビルディング・エネルギー・マネジメントシステムを導入し、院内の省エネ制御を一元化することで、省エネ対策を促進した。 また、福岡市民病院においては、空気調和器熱源のオーバーホールや医療ガスのマニホールドの更新、避難器具の修繕など、建物や電気・給排水設備の計画的な維持修繕及び更新を行った。 ○ 新病院の医療機器整備については、コンサルタントを活用し、徹底した価格交渉やまとめ買いによる費用縮減を図った結果、全体の総額は当初の見込みから約3億円抑制した。 ○ これらの取組の結果、こども病院においては移転・機能拡充による購入材料の増、また、福岡市民病院においては、C型肝炎治療薬の院内処方の開始及び循環器内科や脳神経外科等の手術の増加に伴う高額材料費増のため、材料費対医業収益比率は目標値に届かなかったものの、その他の実績値については目標値を上回った。	2	3	2	3	両病院において、年度計画に基づいた増収対策及び費用削減、収益の確保に取り組んだ結果、こども病院においては目標値を全て上回り、福岡市民病院においては、脳神経外科等の手術の増加に伴い、材料費対医業収益比率は目標値に届かなかったものの、その他については目標値を上回っており、年度計画が順調に進んでいることから、「評価3」とする。

中期計画			年度計画		
【目標値】 (単位：％)			【目標値】 (単位：％)		
指標	こども病院 (新病院)		指標	こども病院 (新病院)	
	平成23年度 実績値	平成28年度 目標値		平成24年度 実績値	平成26年度 目標値
給与費対医業収益比率	56.0	52.8	給与費対医業収益比率	56.0	71.9
材料費対医業収益比率	18.6	20.9	材料費対医業収益比率	18.2	21.9
うち薬品費対医業収益比率	6.6	7.5	うち薬品費対医業収益比率	6.6	6.6
うち診療材料費対医業収益比率	11.5	12.4	うち診療材料費対医業収益比率	11.3	12.3
委託費対医業収益比率	6.1	11.2	委託費対医業収益比率	7.3	14.9
ジェネリック医薬品導入率	6.8	8.0	ジェネリック医薬品導入率	6.8	7.0
【目標値】 (単位：％)			【目標値】 (単位：％)		
指標	福岡市民病院		指標	福岡市民病院	
	平成23年度 実績値	平成28年度 目標値		平成24年度 実績値	平成26年度 目標値
給与費対医業収益比率	53.9	54.2	給与費対医業収益比率	56.2	57.1
材料費対医業収益比率	25.4	24.0	材料費対医業収益比率	23.8	24.1
うち薬品費対医業収益比率	9.0	8.6	うち薬品費対医業収益比率	9.1	8.6
うち診療材料費対医業収益比率	16.3	15.3	うち診療材料費対医業収益比率	14.6	15.3
委託費対医業収益比率	7.4	7.6	委託費対医業収益比率	7.4	7.2
ジェネリック医薬品導入率	22.8	30.0	ジェネリック医薬品導入率	25.1	27.5

評価の判断理由（実施状況等）	自己評価		委員会の評価																																																
	ウエ イト	評 価	ウエ イト	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど																																														
【実績値】（単位：％） <table><tr><th rowspan="2">指標</th><th colspan="2">福岡市立こども病院</th></tr><tr><th>平成25年度 実績値</th><th>平成26年度 実績値</th></tr><tr><td>給与費対医業収益比率</td><td>55.3</td><td>68.0</td></tr><tr><td>材料費対医業収益比率</td><td>18.4</td><td>22.4</td></tr><tr><td>うち薬品費対医業収益比率</td><td>6.5</td><td>6.6</td></tr><tr><td>うち診療材料費対医業収益比率</td><td>11.7</td><td>13.0</td></tr><tr><td>委託費対医業収益比率</td><td>7.1</td><td>10.3</td></tr><tr><td>ジェネリック医薬品導入率</td><td>7.6</td><td>7.1</td></tr></table> 【実績値】（単位：％） <table><tr><th rowspan="2">指標</th><th colspan="2">福岡市民病院</th></tr><tr><th>平成25年度 実績値</th><th>平成26年度 実績値</th></tr><tr><td>給与費対医業収益比率</td><td>58.6</td><td>55.9</td></tr><tr><td>材料費対医業収益比率</td><td>24.2</td><td>26.7</td></tr><tr><td>うち薬品費対医業収益比率</td><td>8.7</td><td>8.9</td></tr><tr><td>うち診療材料費対医業収益比率</td><td>15.4</td><td>17.7</td></tr><tr><td>委託費対医業収益比率</td><td>6.6</td><td>6.6</td></tr><tr><td>ジェネリック医薬品導入率</td><td>27.2</td><td>29.1</td></tr></table>	指標	福岡市立こども病院		平成25年度 実績値	平成26年度 実績値	給与費対医業収益比率	55.3	68.0	材料費対医業収益比率	18.4	22.4	うち薬品費対医業収益比率	6.5	6.6	うち診療材料費対医業収益比率	11.7	13.0	委託費対医業収益比率	7.1	10.3	ジェネリック医薬品導入率	7.6	7.1	指標	福岡市民病院		平成25年度 実績値	平成26年度 実績値	給与費対医業収益比率	58.6	55.9	材料費対医業収益比率	24.2	26.7	うち薬品費対医業収益比率	8.7	8.9	うち診療材料費対医業収益比率	15.4	17.7	委託費対医業収益比率	6.6	6.6	ジェネリック医薬品導入率	27.2	29.1					
指標		福岡市立こども病院																																																	
	平成25年度 実績値	平成26年度 実績値																																																	
給与費対医業収益比率	55.3	68.0																																																	
材料費対医業収益比率	18.4	22.4																																																	
うち薬品費対医業収益比率	6.5	6.6																																																	
うち診療材料費対医業収益比率	11.7	13.0																																																	
委託費対医業収益比率	7.1	10.3																																																	
ジェネリック医薬品導入率	7.6	7.1																																																	
指標	福岡市民病院																																																		
	平成25年度 実績値	平成26年度 実績値																																																	
給与費対医業収益比率	58.6	55.9																																																	
材料費対医業収益比率	24.2	26.7																																																	
うち薬品費対医業収益比率	8.7	8.9																																																	
うち診療材料費対医業収益比率	15.4	17.7																																																	
委託費対医業収益比率	6.6	6.6																																																	
ジェネリック医薬品導入率	27.2	29.1																																																	

中期目標(項目)	第4 財務内容の改善に関する事項 2 収支改善
----------	----------------------------

中期計画	年度計画																												
第4 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置 2 収支改善 (3) 収支改善 増収対策及び費用削減の取組を徹底し、純利益の確保に努める。	○ 新病院の開院により、平成26年度は医業収益が一時的に減少し、収支が悪化することが予想されるため、法人全体として、継続的に増収対策及び費用削減の取組を徹底し、中期目標の達成に努める。 特に新病院においては、早期に収益の回復を図り純損失の抑制に努める。																												
【目標値】 (単位：%) <table><tr><th rowspan="2">指標</th><th colspan="2">こども病院（新病院）</th></tr><tr><th>平成23年度 実績値</th><th>平成28年度 目標値</th></tr><tr><td>総収支比率</td><td>110.3</td><td>101.9</td></tr><tr><td>経常収支比率</td><td>110.9</td><td>101.9</td></tr><tr><td>医業収支比率</td><td>92.9</td><td>92.2</td></tr></table>	指標	こども病院（新病院）		平成23年度 実績値	平成28年度 目標値	総収支比率	110.3	101.9	経常収支比率	110.9	101.9	医業収支比率	92.9	92.2	【目標値】 (単位：%) <table><tr><th rowspan="2">指標</th><th colspan="2">こども病院（新病院）</th></tr><tr><th>平成24年度 実績値</th><th>平成26年度 目標値</th></tr><tr><td>総収支比率</td><td>110.8</td><td>86.3</td></tr><tr><td>経常収支比率</td><td>112.2</td><td>86.6</td></tr><tr><td>医業収支比率</td><td>93.9</td><td>69.6</td></tr></table>	指標	こども病院（新病院）		平成24年度 実績値	平成26年度 目標値	総収支比率	110.8	86.3	経常収支比率	112.2	86.6	医業収支比率	93.9	69.6
指標		こども病院（新病院）																											
	平成23年度 実績値	平成28年度 目標値																											
総収支比率	110.3	101.9																											
経常収支比率	110.9	101.9																											
医業収支比率	92.9	92.2																											
指標	こども病院（新病院）																												
	平成24年度 実績値	平成26年度 目標値																											
総収支比率	110.8	86.3																											
経常収支比率	112.2	86.6																											
医業収支比率	93.9	69.6																											
【目標値】 (単位：%) <table><tr><th rowspan="2">指標</th><th colspan="2">福岡市民病院</th></tr><tr><th>平成23年度 実績値</th><th>平成28年度 目標値</th></tr><tr><td>総収支比率</td><td>114.9</td><td>107.5</td></tr><tr><td>経常収支比率</td><td>115.4</td><td>108.3</td></tr><tr><td>医業収支比率</td><td>100.7</td><td>98.8</td></tr></table>	指標	福岡市民病院		平成23年度 実績値	平成28年度 目標値	総収支比率	114.9	107.5	経常収支比率	115.4	108.3	医業収支比率	100.7	98.8	【目標値】 (単位：%) <table><tr><th rowspan="2">指標</th><th colspan="2">福岡市民病院</th></tr><tr><th>平成24年度 実績値</th><th>平成26年度 目標値</th></tr><tr><td>総収支比率</td><td>114.0</td><td>104.8</td></tr><tr><td>経常収支比率</td><td>114.5</td><td>105.6</td></tr><tr><td>医業収支比率</td><td>100.1</td><td>95.6</td></tr></table>	指標	福岡市民病院		平成24年度 実績値	平成26年度 目標値	総収支比率	114.0	104.8	経常収支比率	114.5	105.6	医業収支比率	100.1	95.6
指標		福岡市民病院																											
	平成23年度 実績値	平成28年度 目標値																											
総収支比率	114.9	107.5																											
経常収支比率	115.4	108.3																											
医業収支比率	100.7	98.8																											
指標	福岡市民病院																												
	平成24年度 実績値	平成26年度 目標値																											
総収支比率	114.0	104.8																											
経常収支比率	114.5	105.6																											
医業収支比率	100.1	95.6																											

中期目標（内容）	
----------	--

評価の判断理由（実施状況等）	自己評価		委員会の評価																															
	ウエイト	評価	ウエイト	評価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど																													
○ こども病院においては、新病院への移転に伴う診療調整等により、平成26年度は医業収益が一時的に減少したものの、1月以降の収入が順調に伸びたことや医業費用が見込みを下回ったことから、年度計画で想定していた当期純損失については3億4,800万円余まで縮小した。 ○ 福岡市民病院においては、増収対策及び費用削減に積極的に取り組んだ結果、当期純利益は3億5,800万円余を確保した。 ○ これらの結果、法人全体では980万円余の当期純利益を確保し、両病院においては、経営に関する3指標（総収支比率、経常収支比率、医業収支比率）の目標値をすべて達成した。 【実績値】（単位：％） <table><tr><th rowspan="2">指標</th><th colspan="2">福岡市立こども病院</th></tr><tr><th>平成25年度 実績値</th><th>平成26年度 実績値</th></tr><tr><td>総収支比率</td><td>111.0</td><td>95.5</td></tr><tr><td>経常収支比率</td><td>111.1</td><td>98.5</td></tr><tr><td>医業収支比率</td><td>95.5</td><td>78.1</td></tr></table> 【実績値】（単位：％） <table><tr><th rowspan="2">指標</th><th colspan="2">福岡市民病院</th></tr><tr><th>平成25年度 実績値</th><th>平成26年度 実績値</th></tr><tr><td>総収支比率</td><td>107.0</td><td>106.2</td></tr><tr><td>経常収支比率</td><td>107.4</td><td>106.7</td></tr><tr><td>医業収支比率</td><td>96.4</td><td>96.8</td></tr></table>	指標	福岡市立こども病院		平成25年度 実績値	平成26年度 実績値	総収支比率	111.0	95.5	経常収支比率	111.1	98.5	医業収支比率	95.5	78.1	指標	福岡市民病院		平成25年度 実績値	平成26年度 実績値	総収支比率	107.0	106.2	経常収支比率	107.4	106.7	医業収支比率	96.4	96.8	2	3	2	3	両病院において、年度計画に基づいた増収対策及び費用削減、収益の確保に取り組んだ結果、両病院ともに経営に関する3指標（総収支比率、経常収支比率、医業収支比率）の目標値をすべて達成しており、年度計画が順調に進んでいることから、「評価3」とする。	
指標		福岡市立こども病院																																
	平成25年度 実績値	平成26年度 実績値																																
総収支比率	111.0	95.5																																
経常収支比率	111.1	98.5																																
医業収支比率	95.5	78.1																																
指標	福岡市民病院																																	
	平成25年度 実績値	平成26年度 実績値																																
総収支比率	107.0	106.2																																
経常収支比率	107.4	106.7																																
医業収支比率	96.4	96.8																																

中期目標(項目)	第5 その他業務運営に関する重要事項 1 新病院の整備及び運営に関する取組
----------	---

中期計画	年度計画
第5 その他業務運営に関する重要事項を達成するためにとるべき措置 1 新病院の整備及び運営に関する取組 ① 新病院の整備については、平成26年11月の開院を目指し、防災対策も含め、着実に事業を進めていく。 ② 市民に親しまれる病院づくりを推進するため、市民や医療関係者等に対し、新病院の概要や医療機能の拡充内容などを積極的に情報発信する。 ③ 新病院では医師、看護師を始め医療従事者の増員が必要となるため、開院後の稼働状況に合わせた段階的な採用により医療従事者を確保していく。 ④ 小児医療、周産期医療を取り巻く状況や医療環境の変化等を踏まえ、新病院が求められる役割を果たすために必要な病床の確保などの適切な対応に努める。	○ 新病院の整備については、11月の開院を目指し、建物完成までの施工確認を適切に行うとともに、施設の維持管理業務計画の策定に向け株式会社FCHパートナーズとの協議・検討を進める。 ○ 市民に親しまれる病院づくりを推進するため、市民や医療関係者等に対し、新病院の概要や医療機能の拡充内容などを、ホームページや病院案内、広報誌を利用し、積極的に情報発信する。 ○ 開院後の稼働状況に合わせ必要な医療従事者を確保する。 ○ 小児医療、周産期医療を取り巻く状況や医療環境の変化等を踏まえ、新病院が求められる役割を果たすために必要な病床の確保などの適切な対応に努める。 ○ 「ふくおかハウス」については、建設のための募金活動を積極的に行い、病院と同時期の開所を目指し整備を進める。開所後は、「公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン」の運営に協力し、患者家族が安心して滞在できる環境の整備に努める。

中期目標(内容)	新病院の整備については、こども病院移転計画調査委員会において指摘のあった防災対策などについて十分配慮し、株式会社FCHパートナーズとの連携強化を図りながら、平成26年11月の開院を目指すとともに、地域住民に対する積極的な情報発信などにより、市民に親しまれる病院づくりに努めること。 また、開院後において、円滑な病院運営及び質の高いサービスの提供を行えるよう、医療従事者の確保など、必要な取組を着実に行うこと。 さらに、小児医療、周産期医療を取り巻く状況や医療環境の変化等を踏まえ、新病院が求められる役割を果たすため、引き続き必要となる病床の確保に努めること。
-----------------	--

評価の判断理由(実施状況等)	自己評価		委員会の評価		
	ウエイト	評価	ウエイト	評価	評価の判断理由・評価のコメントなど
【新病院の整備及び運営】 ○ 新病院は、平成26年11月1日に東区香椎照葉に開院し、新しい療養環境の下で、最新の医療機器を駆使しての高度専門医療を提供できる体制を整備した。 ・ 建物については、8月12日に竣工し、引き渡しを受けた後、維持管理を開始。 ・ 開院に向けて新病院に必要な医療機器等の搬入・設置・動作確認や薬品・医療材料の調達などの準備作業を実施。 ・ 11月1日に入院児の転院作業として、警察・消防等の協力も得て、19名の患児の搬送を行い、およそ4時間で無事完了。 ・ 移転を想定して、必要な人員を確保するとともに、新病院本格稼働に向け職員の採用選考を実施。 ・ 防災に関して、様々な災害を想定した「福岡市立こども病院消防計画」を策定するとともに、平成27年2月27日には消防も参加しての総合防災訓練を実施。 ○ 新病院の概要や医療機能などを記載した、書籍「こどもの医療 いま そして これから」、広報誌「みらい」等を発行し、竣工記念式や内覧会などの機会に情報発信するとともに、ホームページ、病院案内等にて移転等の周知を行った。 ○ 小児医療、周産期医療を取り巻く状況や医療環境についての情報収集や動向把握などを行い、福岡市における国家戦略特別区域法に基づく病床規制の特例を活用し、増床に向けた申請手続きを行った。 ○ 患児家族滞在施設（ふくおかハウス）については、従来の5室から16室に拡充するとともに、家族同士がコミュニケーションを取れるような共用スペースも準備するなど、利用者の利便性向上を図るための整備を進めた。 建物については、3月27日に竣工し、5月1日からの開所に向け、公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパンと協力して受入準備を進めた。 「ふくおかハウス」建設募金は、「ふくおかハウス」建設募金委員会を中心に活動を行い、多くの方々からご支援・ご協力をいただいた結果、目標額2億円を達成した。	2	5	2	5	入念な準備と万全な体制のもと、数十年に一度の大規模プロジェクトであるこども病院の新築移転を無事完了するとともに、速やかに新病院における医療提供体制構築したこと及び患児家族滞在施設の建設募金目標額2億円を達成し無事竣工できたことから、年度計画を大幅に上回って実施していると判断し、「評価5」とする。

中期目標(項目)	第5 その他業務運営に関する重要事項 2 福岡市民病院における経営改善の推進
-----------------	---

中期計画	年度計画
第5 その他業務運営に関する重要事項を達成するためにとるべき措置 2 福岡市民病院における経営改善の推進 ① 福岡市民病院については、引き続き高度専門医療、高度救急医療を提供するとともに、福岡市における感染症医療の一翼を担うなど、市立病院として求められる役割を果たす。 ② 平成23年度の医業収支黒字化を踏まえ、引き続き経営の効率化に努める。	○ 市立病院として求められる役割を果たすため、新型インフルエンザ等に対応するための第二種感染症病床（4床）の設置や救急部門の機能拡充のための別館工事の早期完了に努め、引き続き高度専門医療、高度救急医療を提供する。 ○ 引き続き経営の効率化を図り、医業収支の更なる改善に努める。

中期目標(内容)	福岡市民病院の経営改善については、地方独立行政法人化後2年目で病院開設以来初となる医業収支の黒字化を達成するなど、順調に進んでいるところであるものの、福岡市の厳しい財政状況を踏まえ、市立病院として担うべき医療を着実にを行いながら、引き続き経営の効率化に努めること。
----------	--

評価の判断理由（実施状況等）	自己評価		委員会の評価																							
	ウ エ ィ ト	評 価	ウ エ ィ ト	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど																					
【福岡市民病院における経営改善】 ○ がんや脳卒中など地域医療計画における4疾病への対応を中心に高度専門医療を提供した。 特に、神経疾患・神経外傷に対応した脳神経・脳卒中センターにおいては、25年度に引き続き、市内医療機関で最多の地域医療連携パスを発行（市内1,050件中297件：福岡市医師会資料）するなど、病病連携をより一層強化し、治療法の充実を図った。これらにより、福岡都市圏における主要な脳神経・脳卒中センターの1つとして役割を果たした。 ○ 第二種感染症病床（4床）の設置及び救急部門の機能拡充を目的とした救急診療棟の増築により、更なる高度専門医療及び救急医療体制の提供を可能とした。 特に、10月に県より第二種感染症指定医療機関としての指定を受け、新型インフルエンザ等感染症に対する体制が整った。 また、高度救急医療に関しては、日本救急医学会救急科専門医指定施設として、専門性の高い救急医療を提供しており、救急搬送件数も年々増加し、市内における主要な高度救急医療機関の一つとなっている。 ○ これらの診療機能の強化のほか、様々な増収対策に取り組んだ結果、医業収益は大幅に増加し、医業収支比率は目標値を上回った。 【医業収支比較】（単位：百万円） <table><tr><th>区分</th><th>平成25年度</th><th>平成26年度</th><th>比較</th></tr><tr><td>医業収益 a</td><td>4,886</td><td>5,311</td><td>425</td></tr><tr><td>営業費用 b</td><td>5,066</td><td>5,486</td><td>420</td></tr><tr><td>差引（a－b）</td><td>▲180</td><td>▲175</td><td>5</td></tr><tr><td>医業収支比率（a／b）</td><td>96.4</td><td>96.8</td><td>0.4</td></tr></table>	区分	平成25年度	平成26年度	比較	医業収益 a	4,886	5,311	425	営業費用 b	5,066	5,486	420	差引（a－b）	▲180	▲175	5	医業収支比率（a／b）	96.4	96.8	0.4	2	4	2	4	医業収益は大幅に増加し、医業収支比率は目標値を上回ったことから、年度計画を上回って実施していると判断し、「評価4」とする。	
区分	平成25年度	平成26年度	比較																							
医業収益 a	4,886	5,311	425																							
営業費用 b	5,066	5,486	420																							
差引（a－b）	▲180	▲175	5																							
医業収支比率（a／b）	96.4	96.8	0.4																							

第5 予算（人件費の見積りを含む。），収支計画及び資金計画

1 予算

（単位：百万円）

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)
収入			
営業収益	12,984	13,015	30
医業収益	10,718	10,918	200
運営費負担金収益	2,233	2,042	△190
補助金収益	31	41	10
寄附金収益	2	13	11
営業外収益	328	359	30
運営費負担金収益	243	243	－
その他営業外収益	85	116	30
資本収入	13,543	13,482	△ 60
長期借入金	13,129	13,195	66
運営費負担金	－	190	190
寄附金	400	64	△ 336
補助金	14	33	20
その他収入	－	14	14
計	26,856	26,870	15
支出			
営業費用	12,834	11,569	△ 1,264
医業費用	12,280	11,184	△ 1,096
給与費	7,001	6,351	△ 650
材料費	2,887	2,886	△ 1
経費	2,284	1,881	△ 403
資産減耗費	2	－	△ 2
研究研修費	105	66	△ 40
一般管理費	554	385	△ 169
給与費	184	175	△ 9
経費	370	210	△ 160
営業外費用	340	215	△ 125
資本支出	14,363	13,993	△ 371
建設改良費	13,423	13,083	△ 341
給与費	18	11	△ 8
経費	13,405	13,072	△ 333
償還金	940	910	△ 30
その他の支出	47	6	△ 41
計	27,584	25,783	△ 1,801

（注）計数は原則としてそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは一致しないものがある。

2 収支計画

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)
収益の部	13,313	13,544	231
営業収益	12,984	13,178	194
医業収益	10,718	10,908	190
運営費負担金収益	2,233	2,042	△ 190
補助金収益	31	41	10
寄附金収益	2	13	11
資産見返負債戻入	－	173	173
営業外収益	328	353	24
運営費負担金収益	243	243	－
その他営業外収益	85	109	24
臨時利益	－	13	13
費用の部	14,189	13,534	△ 655
営業費用	13,778	12,655	△ 1,123
医業費用	13,222	12,258	△ 964
給与費	6,893	6,779	△ 114
材料費	2,887	2,672	△ 215
経費	2,284	1,741	△ 544
減価償却費	1,050	1,003	△ 47
資産減耗費	2	1	－
研究研修費	105	62	△ 44
一般管理費	557	397	△ 159
営業外費用	340	601	262
臨時損失	71	277	206
純利益	△876	10	886
目的積立金取崩額	－	－	－
純利益	△876	10	886

(注) 計数は原則としてそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは一致しないものがある。

3 資金計画

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)
資金収入	29,500	30,659	1,158
業務活動による収入	13,313	12,949	△ 364
診療業務による収入	10,718	10,607	△ 111
運営費負担金による収入	2,476	2,285	△ 190
その他の業務活動による収入	119	56	△ 63
投資活動による収入	414	2,330	1,917
運営費負担金による収入	－	190	190
その他の投資活動による収入	414	2,140	1,726
財務活動による収入	13,129	13,195	66
長期借入れによる収入	13,129	13,195	66
その他の財務活動による収入	－	－	－
前年度からの繰越金	2,645	2,185	△ 460
資金支出	29,500	28,357	△ 1,143
業務活動による支出	13,239	11,203	△ 2,036
給与費支出	7,204	6,502	△ 701
材料費支出	2,887	2,554	△ 333
その他の業務活動による支出	3,148	2,146	△ 1,002
投資活動による支出	13,405	15,627	2,222
有形固定資産取得による支出	13,405	13,575	170
その他の投資活動による支出	－	2,052	2,052
財務活動による支出	940	925	△ 15
長期借入金の返済による支出	374	374	－
移行前地方債償還債務の 償還による支出	516	516	－
その他の財務活動による支出	50	35	△ 15
翌事業年度への繰越金	1,917	603	△ 1,314

(注) 計数は原則としてそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは一致しないものがある。

第6 短期借入金の限度額

中期計画	年度計画	実 績
1 限度額 2,000百万円 2 想定される短期借入金の発生事由 ア 業績手当（賞与）の支給等による一時的な資金不足への対応 イ 予定外の退職者の発生に伴う退職手当の支給等，偶発的な出費への対応	1 限度額 2,000百万円 2 想定される短期借入金の発生事由 ア 業績手当（賞与）の支給等による一時的な資金不足への対応 イ 予定外の退職者の発生に伴う退職手当の支給等，偶発的な出費への対応	1 最大借入高 182万円（平成27年2月） 2 短期借入金の発生事由 資金の収支予定を作成し，効率的な資金運用を行っているが，一時的な資金不足が生じたことから，短期借入れを行ったもの。 ※ 2月中に返済済

第7 重要な財産を譲渡し，又は担保に供する計画

中期計画	年度計画	実 績
なし	なし	該当なし

第8 剰余金の使途

中期計画	年度計画	実 績
決算において剰余を生じた場合は，病院施設の整備，医療機器の購入，教育・研修体制の充実等に充てる。	決算において剰余を生じた場合は，病院施設の整備，医療機器の購入，教育・研修体制の充実等に充てる。	平成26年度は，決算において剰余を生じたので，平成27年度以降における病院施設の整備，医療機器の購入，教育・研修体制の充実等に充てる予定である。

第 9 地方独立行政法人福岡市立病院機構の業務運営等に関する規則で定める業務運営に関する事項

中期計画	年度計画	実 績																		
1 施設及び設備に関する計画 (平成25年度から平成28年度まで) (単位：百万円) <table border="1"> <tr> <th>施設及び設備 の内容</th><th>予定額</th><th>財源</th></tr> <tr> <td>病院施設, 医療 機器等整備</td><td>17,571</td><td>福岡市長期借 入金等</td></tr> </table>	施設及び設備 の内容	予定額	財源	病院施設, 医療 機器等整備	17,571	福岡市長期借 入金等	1 施設及び設備に関する計画 (平成26年度) (単位：百万円) <table border="1"> <tr> <th>施設及び設備 の内容</th><th>予定額</th><th>財源</th></tr> <tr> <td>病院施設, 医療 機器等整備</td><td>14,390</td><td>福岡市長期借 入金等</td></tr> </table>	施設及び設備 の内容	予定額	財源	病院施設, 医療 機器等整備	14,390	福岡市長期借 入金等	1 施設及び設備に関する計画 (平成26年度) (単位：百万円) <table border="1"> <tr> <th>施設及び設備 の内容</th><th>決定額</th><th>財源</th></tr> <tr> <td>病院施設, 医療 機器等整備</td><td>13,083</td><td>福岡市長期借 入金等</td></tr> </table>	施設及び設備 の内容	決定額	財源	病院施設, 医療 機器等整備	13,083	福岡市長期借 入金等
施設及び設備 の内容	予定額	財源																		
病院施設, 医療 機器等整備	17,571	福岡市長期借 入金等																		
施設及び設備 の内容	予定額	財源																		
病院施設, 医療 機器等整備	14,390	福岡市長期借 入金等																		
施設及び設備 の内容	決定額	財源																		
病院施設, 医療 機器等整備	13,083	福岡市長期借 入金等																		
2 人事に関する計画 職員の意欲を引き出す人事制度を構築するとともに、教育・研修体制の充実等により、職員のモチベーションの維持・向上を図る。 また、適材適所を基本とした柔軟な人事配置を行うとともに、有期職員の活用やアウトソーシングの検討を積極的に行い、効果的・効率的な組織運営体制の構築を図る。	2 人事に関する計画 職員の意欲を引き出す人事制度の構築や教育・研修体制の充実等に取り組む。 また、職員の能力や適性等に応じた適材適所の人事配置や有期職員の活用等により、効果的・効率的な組織運営を推進する。	2 人事に関する計画 人事制度の構築については、平成23年度から試行中の医師を対象とした人事評価制度について、試行の効果を検証し、必要な改善策を講じたうえで、平成26年度から本格実施した。また、医師以外の職種についても、職員の業績や貢献度等を適正に評価し、最終的には処遇面等に活かすことで職員の意欲の維持・向上及び業務運営の改善を図ることを目的に、平成27年度から試行する管理職目標管理制度を整備した。 教育・研修体制の充実については、本部においてマネジメント能力向上を目的に、全職種を対象とした監督者研修を実施するとともに、新たに主任級研修を実施したほか、両病院においても外部講師の活用による院内研修の実施や外部研修の受講を推進するなど研修体制の充実に努めた。 適材適所の人事配置や有期職員の活用等については、人材育成や組織の活性化を図るため、事務職の病院間等の人事異動を行ったほか、有期職員をこども病院に83名、福岡市民病院に113名及び本部事務局に2名配置するなど、効果的・効率的な組織運営を推進した。 ※有期職員の人数は平成26年5月1日現在																		

地方独立行政法人福岡市立病院機構 業務実績評価の方針

平成22年11月10日

地方独立行政法人福岡市立病院機構評価委員会決定

地方独立行政法人法第28条第1項及び第30条第1項の規定に基づき、地方独立行政法人福岡市立病院機構評価委員会（以下「評価委員会」という。）が実施する地方独立行政法人福岡市立病院機構（以下「法人」という。）の業務実績に関する評価（以下「評価」という。）については、以下の方針に基づき行うものとする。

1 基本方針

- (1) 評価は、法人が中期目標を達成するために、業務運営の改善及び効率化が進められること及び法人の質的向上に資することを目的として行うものとする。
- (2) 評価は、年度計画及び中期計画の実施状況を確認及び分析し、法人の業務運営等について総合的に判断して行うものとする。
- (3) 年度計画及び中期計画を実現するために、法人として特色ある取組や様々な工夫を行った場合は積極的に評価することとし、単に実績数値にとらわれないものとする。
- (4) 評価方法については、法人を取り巻く環境変化などを踏まえ、柔軟に対応するとともに、必要に応じて見直しを行うものとする。
- (5) 評価結果を法人に通知する場合は、法人に対し、意見申立ての機会を付与するものとする。

2 評価方法

(1) 法人からの報告書の提出

法人は、各事業年度及び中期目標期間終了後3月以内に、当該期間における業務の実績を明らかにした報告書（以下「業務実績報告書」という。）を評価委員会に提出する。その際、各事業年度の業務実績報告書においては、年度計画に記載されている小項目などについて法人が行った自己評価をあわせて記載する。

(2) 評価の実施

評価委員会は、提出された業務実績報告書をもとに、法人からの意見聴取等を踏まえて業務の実施状況を確認及び分析し、総合的な評価を行う。評価は、各事業年度終了時に実施する「年度評価」と、中期目標期間終了時に実施する「中期目標期間評価」とし、それぞれ「項目別評価」と「全体評価」により行うものとする。

① 年度評価

中期計画及び年度計画に記載されている小項目、大項目及び全体について評価を行う。

評価に当たっては、小項目について病院ごとの実績がわかるように工夫し、病院の自己点検に基づき、法人としての自己評価を行い、これに基づき評価委員会にお

いて確認及び分析し、「項目別評価」（小項目及び大項目）を行い、「項目別評価」の結果を踏まえつつ、中期計画、年度計画の進捗状況全体について総合的に評価を行う。

なお、「年度評価」に係る評価基準等の詳細については、別途実施要領で定めるものとする。

② 中期目標期間評価

各「年度評価」の評価結果も踏まえつつ、中期計画に記載されている大項目及び全体について評価を行う。

評価に当たっては、当該期間における中期目標の達成状況について、当該期間中の「年度評価」の結果を踏まえつつ、評価委員会において確認及び分析し、「項目別評価」（大項目）を行う。さらに、「項目別評価」の結果を踏まえ、当該中期目標期間における業務実績全体について総合的に評価する。

なお、「中期目標期間評価」に係る評価基準等の詳細については、別途実施要領で定めるものとする。

3 評価結果の活用

- (1) 法人は、評価結果や勧告を受けて、法人として取り組む事項を明確にし、改善に取り組むとともに、その状況を評価委員会に報告する。
- (2) 法人の業務継続の必要性及び組織のあり方等に関する検討、次期中期目標の策定及び次期中期計画の作成に関して、評価委員会が意見を述べる際には、中期目標期間の各年度の評価結果を踏まえるものとする。

地方独立行政法人福岡市立病院機構 年度業務実績評価実施要領

平成22年11月10日

地方独立行政法人福岡市立病院機構評価委員会決定

地方独立行政法人法第28条の規定に基づき、地方独立行政法人福岡市立病院機構評価委員会（以下「評価委員会」という。）が地方独立行政法人福岡市立病院機構（以下「法人」という。）の各事業年度に係る業務実績に関する評価（以下「年度評価」という。）を実施するにあたっては、「地方独立行政法人福岡市立病院機構業務実績評価の方針（平成22年11月10日決定）」に基づき、以下の要領により実施する。

1 項目別評価の具体的方法

「項目別評価」は、原則として当該年度の年度計画に定めた小項目ごとに、その実施状況について法人が自己評価を行う。さらに評価委員会においても評価を行った上で、年度計画に掲げる「第1～第4」の項目（大項目）について評価を行う。

なお、法人においては、年度計画の小項目を必要に応じて細分化することができるものとする。

(1) 項目別評価【法人による小項目自己評価】

法人において、小項目ごとの進捗について、実施状況をできる限り定量的に記載するとともに、次の5段階で自己評価を行い、判断理由を記載した業務実績報告書（別紙のとおり）を作成する。法人は、各項目に市立病院としての役割や年度計画の重要度合いを考慮して、ウェイトを設定するとともにその理由を付記するものとする。

なお、業務実績報告書には、特記事項として、特色ある取組、法人運営を円滑に進めるための工夫、今後の課題などを自由に記載するものとし、自己評価は、病院ごとの実績がわかるよう工夫し、病院の自己点検に基づき、法人として行うものとする。

評価5・・・年度計画を大幅に上回って実施している。

評価4・・・年度計画を上回って実施している。

評価3・・・年度計画を順調に実施している。

評価2・・・年度計画を十分に実施できていない。

評価1・・・年度計画を大幅に下回っている。

(2) 項目別評価【評価委員会による小項目評価】

評価委員会において、法人の自己評価及び法人が設定する小項目、ウェイトなどを総合的に検証し、小項目ごとの進捗状況について、法人の自己評価と同様に「1～5」の5段階による評価を行う。その際、単に目標値及び前年度数

値と当該実績値の比較だけでなく、計画を達成するために効果的な取組が行われているかどうかも含め、総合的に判断するものとする。

評価委員会による評価と法人の自己評価が異なる場合は、評価委員会が評価の判断理由等を示す。

その他、必要に応じて、特筆すべき点や遅れている点についてコメントを付す。

(3) 項目別評価【評価委員会による大項目評価】

評価委員会において、小項目評価の結果、特記事項の記載内容などを考慮し、大項目ごとに中期計画の実現に向けた業務の進捗状況について、次の5段階による評価を行い、考慮した事項及びそのように判断した理由も記載する。

評価S：中期計画の実現に向けて、特筆すべき進捗状況にある

(評価委員会が特に認める場合)

評価A：中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる

(すべての小項目が3～5)

評価B：中期計画の実現に向けておおむね計画どおり進んでいる

(3～5の小項目の割合がおおむね9割以上)

評価C：中期計画の実現のためにはやや遅れている

(3～5の小項目の割合がおおむね9割未満)

評価D：中期計画の実現のためには重大な改善すべき事項がある

(評価委員会が特に認める場合)

なお、小項目評価結果の割合を算定するにあたっては、ウエイトを考慮した小項目数によるものとする。

2 全体評価の具体的方法

評価委員会において、項目別評価の結果を踏まえ、年度計画及び中期計画の全体的な進捗状況について、記述式による評価を行う。

全体評価においては、法人化を契機とした病院改革の取り組み(法人運営における業務運営の改善・効率化、財務内容の改善など)を積極的に評価するものとする。

その評価にあたり、項目別の結果とともに、主な取組や特色ある取組及び特に優れている点など特筆すべき取組について評価結果報告書(別紙のとおり)に記載するものとする。

また、評価の中で改善すべき事項については評価委員会の意見として評価結果報告書に記載するとともに、特に重大な改善事項については勧告を行うものとする。